

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）
改正日変更	<div data-bbox="477 352 587 457" style="text-align: center;">秘</div> <div data-bbox="1249 365 1546 520" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 取扱注意 No. </div> <p style="text-align: center; font-size: 24px; margin-top: 100px;">水道工事積算基準及び標準歩掛表</p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold; margin-top: 50px;">平成30年7月1日改正</p> <p style="text-align: center; margin-top: 100px;">神奈川県企業庁</p>	<div data-bbox="1724 365 1834 470" style="text-align: center;">秘</div> <div data-bbox="2502 378 2798 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 取扱注意 No. </div> <p style="text-align: center; font-size: 24px; margin-top: 100px;">水道工事積算基準及び標準歩掛表</p> <p style="text-align: center; margin-top: 50px;">平成30年4月1日改正</p> <p style="text-align: center; margin-top: 100px;">神奈川県企業庁</p>

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）
語句訂正	<p>第 1 章 水道工事積算基準</p> <p>第 1 節 総 則</p> <p>1-1 目的</p> <p>本水道工事積算基準及び標準歩掛表は、神奈川県企業庁発注の水道工事等を請負施工とする場合における工事設計書に計上すべき工事費（以下「請負工事費」という。）の算定について必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>1-2 適用範囲</p> <p>(1)～(5) 略</p> <p>1-3 請負工事費の構成</p> <p>(1)～(5) 略</p> <p>(6) 間接工事費 各工事部門共通の前号以外の工事費及び経費であり、共通仮設費と現場管理費に分類される。 共通仮設費は工事施工に共通する運搬費、準備費、安全費、現場環境改善費、役務費、技術管理費等について積算するものである。 現場管理費は、工事施工にあたり工事を管理するために必要な共通仮設費以外の経費とし、現場管理費を構成する各費目について積算するか、又は次の現場管理費率を用いて積算するものとする。</p> $\text{現場管理比率} = \frac{\text{現場管理費}}{\text{純工事費}}$ <p>ただし、純工事費＝直接工事費＋共通仮設費</p> <p>第 3 節 間接工事費等の積算</p> <p>3-1 間接工事費</p> <p>(1) 間接工事費とは、工事の目的物の出来高には直接関係はないが、各部門の実施に対して共通に使用されるものについて要する費用で、共通仮設費と現場管理費に分けて積算する。共通仮設費は、運搬費、準備費、現場環境改善費、役務費、技術管理費、営繕費、事業損失防止施設費、安全費等に要する費用である。</p> <p>(2) 2 種以上の工種内容からなる工事についての共通仮設費及び現場管理費の算定は、その主たる工種区分を適用できることとする。</p> <p>(3) 主たる工種とは、当該対象額の大きい方の工種をいう。ただし、対象額で判断しがたい場合は直接工事費で判断する。</p> <p>(4) 変更設計時に数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種を適用する。</p>	<p>第 1 章 水道工事積算基準</p> <p>第 1 節 総 則</p> <p>1-1 目的</p> <p>本水道工事積算基準及び標準歩掛表は、神奈川県企業庁発注の水道工事等を請負施工とする場合における工事設計書に計上すべき工事費（以下「請負工事費」という。）の算定について必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>1-2 適用範囲</p> <p>(1)～(5) 略</p> <p>1-3 請負工事費の構成</p> <p>(1)～(5) 略</p> <p>(6) 間接工事費 各工事部門共通の前号以外の工事費及び経費であり、共通仮設費と現場管理費に分類される。 共通仮設費は工事施工に共通する運搬費、準備費、安全費、<u>イメージアップ経費</u>、役務費、技術管理費等について積算するものである。 現場管理費は、工事施工にあたり工事を管理するために必要な共通仮設費以外の経費とし、現場管理費を構成する各費目について積算するか、又は次の現場管理費率を用いて積算するものとする。</p> $\text{現場管理比率} = \frac{\text{現場管理費}}{\text{純工事費}}$ <p>ただし、純工事費＝直接工事費＋共通仮設費</p> <p>第 3 節 間接工事費等の積算</p> <p>3-1 間接工事費</p> <p>(1) 間接工事費とは、工事の目的物の出来高には直接関係はないが、各部門の実施に対して共通に使用されるものについて要する費用で、共通仮設費と現場管理費に分けて積算する。共通仮設費は、運搬費、準備費、<u>イメージアップ経費</u>、役務費、技術管理費、営繕費、事業損失防止施設費、安全費等に要する費用である。</p> <p>(2) 2 種以上の工種内容からなる工事についての共通仮設費及び現場管理費の算定は、その主たる工種区分を適用できることとする。</p> <p>(3) 主たる工種とは、当該対象額の大きい方の工種をいう。ただし、対象額で判断しがたい場合は直接工事費で判断する。</p> <p>(4) 変更設計時に数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種を適用する。</p>

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																												
<p>補正区分の見直し加算から乗算への変更</p>	<p>3-2 共通仮設費</p> <p>3-2-1 共通仮設費 共通仮設費の算定は、表3-2-1-3の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加算しておこなうものとする。 略</p> <p>3-2-2 共通仮設費の率分 (1) 共通仮設費の率分の積算 共通仮設費の率分の算定は、表3-2-2-2の工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。 (2) 共通仮設費率の補正 ア 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率に表3-2-2-1の補正係数を乗じて行うものとする。(表3-2-2-2 共通仮設費率、表3-2-2-1 補正係数)</p> <p>表3-2-2-1 間接工事費等の項目別対象表</p> <table border="1" data-bbox="365 877 1196 1087"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全地域</td> <td>一般交通影響あり①</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>一般交通影響あり②</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>市街地</td> <td>一般交通影響なし</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山間僻地及び離島</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市街地：施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島：施工地域が人事院規則における特勤手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地方部：施工地区が上記以外の地区をいう。</p> <p>注2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通影響あり①：2車線以上(片側1車線以上)かつ交通量が5,000台/日以上以上の車道において規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。 一般交通影響あり②：一般交通影響あり①以外の車道において、規制を行う場合。(常時全面通行止めの場合を含む)</p> <p>注3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合には、補正係数の大きい方を適用する。</p> <p>イ 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費（率分）＝対象額（P）×（共通仮設費率（K_r）×施工地域・工事場所区分による補正係数）</p>	施工地域・工事場所区分		補正係数	全地域	一般交通影響あり①	1.3	一般交通影響あり②	1.2	市街地	一般交通影響なし	1.2	山間僻地及び離島		1.3	<p>3-2 共通仮設費</p> <p>3-2-1 共通仮設費 共通仮設費の算定は、表3-2-1-3の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加算しておこなうものとする。 略</p> <p>3-2-2 共通仮設費の率分 (1) 共通仮設費の率分の積算 共通仮設費の率分の算定は、表3-2-2-2の工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。 (2) 共通仮設費率の補正 ア 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正及び計算により補正を行うものとする。(表3-2-2-2 共通仮設費率、表3-2-2-1 補正值)</p> <p>表3-2-2-1 間接工事費等の項目別対象表</p> <table border="1" data-bbox="1623 877 2454 1087"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正值(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市街地</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山間僻地及び離島</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地方部</td> <td>施工場所が一般交通等の影響を受ける場</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>施工場所が一般交通等の影響を受けない</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市街地：施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島：施工地域が人事院規則における特勤手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地方部：施工地区が上記以外の地区をいう。</p> <p>注2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通等の影響を受ける場合：①施工場所において、一般交通の影響を受ける場合 ②施工場所において、地下埋設物件の影響を受ける場合 ③施工場所において、50m以内に人家等が連なっている場合</p> <p>注3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合には、補正率の大きい方を適用する。</p> <p>イ 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費（率分）＝対象額（P）×（共通仮設費率（K_r）＋施工地区・工事場所による補正率）</p>	施工地域・工事場所区分		補正值(%)	市街地		2.0	山間僻地及び離島		1.0	地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場	1.5	施工場所が一般交通等の影響を受けない	—
施工地域・工事場所区分		補正係数																												
全地域	一般交通影響あり①	1.3																												
	一般交通影響あり②	1.2																												
市街地	一般交通影響なし	1.2																												
山間僻地及び離島		1.3																												
施工地域・工事場所区分		補正值(%)																												
市街地		2.0																												
山間僻地及び離島		1.0																												
地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場	1.5																												
	施工場所が一般交通等の影響を受けない	—																												

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）
<p>語句訂正</p>	<p>3-2-6 安全費 (1) 安全費の積算 安全費として積算する内容は次のとおりとする。 ア 交通管理に要する費用 イ 安全施設等に要する費用 ウ 安全管理等に要する費用 エ ア～ウに掲げるもののほか、工事施工上必要な安全対策等に要する費用 (2) 積算方法 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、下記の項目とする。 ア 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用 イ 不稼働日の保安要員等の費用 ウ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料 エ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用（大規模な照明設備を必要とする広範な工事（ダム・トンネル工事）は除く） オ 河川、海岸工事における救命艇に要する費用 カ 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用 キ 酸素欠乏症の予防に要する費用 ク 粉塵作業の予防に要する費用（ただし、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、仮設工に計上する。） ケ 安全用品等の費用 コ 安全委員会等に要する費用</p> <p>上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。 ア 機械の誘導員等の交通管理に要する費用 イ 鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入り口等に配置する安全管理員等に要する費用 ウ バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等の現場環境改善に要する費用（積算方法は「3-8 現場環境改善費の積算」による） エ 高圧作業の予防に要する費用 オ 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用 カ その他、現場条件等により積み上げを要する費用</p>	<p>3-2-6 安全費 (1) 安全費の積算 安全費として積算する内容は次のとおりとする。 ア 交通管理に要する費用 イ 安全施設等に要する費用 ウ 安全管理等に要する費用 エ ア～ウに掲げるもののほか、工事施工上必要な安全対策等に要する費用 (2) 積算方法 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、下記の項目とする。 ア 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用 イ 不稼働日の保安要員等の費用 ウ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料 エ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用（大規模な照明設備を必要とする広範な工事（ダム・トンネル工事）は除く） オ 河川、海岸工事における救命艇に要する費用 カ 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用 キ 酸素欠乏症の予防に要する費用 ク 粉塵作業の予防に要する費用（ただし、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、仮設工に計上する。） ケ 安全用品等の費用 コ 安全委員会等に要する費用</p> <p>上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。 ア 機械の誘導員等の交通管理に要する費用 イ 鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入り口等に配置する安全管理員等に要する費用 ウ バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等のイメージアップに要する費用（積算方法は「3-8 イメージアップ経費の積算」による） エ 高圧作業の予防に要する費用 オ 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用 カ その他、現場条件等により積み上げを要する費用</p>

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）
<p>語句、項番訂正</p>	<p>3-2-9 営繕費</p> <p>(1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>ア 現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用</p> <p>イ 労働者宿舍の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用</p> <p>ウ 倉庫及び材料保管場の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用</p> <p>エ 労働者の輸送に要する費用</p> <p>オ 上記ア、イ、ウに係る土地・建物の借上げに要する費用</p> <p>カ 監督員詰所及び火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用</p> <p>キ ア～カに掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)のア、イ、ウ、エ、オの項目とする。上記以外で積上げする項目は次の各項に要する費用とする。</p> <p>ア 監督員詰所の営繕に要する費用</p> <p>監督員詰所の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置撤去する場合 $E_k = A(500 \cdot M + 14,150) + t \cdot M$ ・設置のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M + 10,600) + t \cdot M$ ・撤去のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M + 3,550) + t \cdot M$ ・損料のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M) + t \cdot M$ <p>ただし、E_k：監督員詰所に係る営繕費</p> <p>E_kには、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記tの費用が含まれる。）</p> <p>A：建物面積（㎡）</p> <p>（建物面積は人員2名までは25㎡を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することができる。）</p> <p>M：月数（必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、小数1位止めとする。）</p> <p>t：次の項目に要する費用</p> <p>a. 備品（机、いす、黒板、温度計、書箱、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応接セット）に要する費用</p> <p>備品は損料として13,800円/月を計上する。</p> <p>b. その他、現場条件等により、積上げを要する費用。</p> <p>注1. 備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。</p> <p>注2. 上記のE_kについては、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれていない。</p> <p>注3. 電気、水道、ガスに係る既設の供給管（線）と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することができる。</p> <p>注4. 監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途考慮することができる。</p> <p>イ 現場事務所、監督員詰所等の美装化、シャワーの設置、トイレの水洗化等に要する費用。積算方法は「3-8 現場環境改善費」の積算による。</p> <p>ウ その他、現場条件等により積上げを要する費用。</p>	<p>3-2-9 営繕費</p> <p>(1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>ア 現場事務所、試験室等の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用</p> <p>イ 労働者宿舍の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用</p> <p>ウ 倉庫及び材料保管場の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用</p> <p>エ 労働者の輸送に要する費用</p> <p>オ 上記ア、イ、ウに係る土地・建物の借上げに要する費用</p> <p>カ 監督員詰所及び火薬庫の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要する費用</p> <p>キ ア～カに掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法</p> <p>営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)のア、イ、ウ、エ、オの項目とする。また監督員詰所の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。</p> <p><u>(ア) 監督員詰所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置撤去する場合 $E_k = A(500 \cdot M + 14,150) + t \cdot M$ ・設置のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M + 10,600) + t \cdot M$ ・撤去のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M + 3,550) + t \cdot M$ ・損料のみの場合 $E_k = A(500 \cdot M) + t \cdot M$ <p>ただし、E_k：監督員詰所に係る営繕費</p> <p>E_kには、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記tの費用が含まれる。）</p> <p>A：建物面積（㎡）</p> <p>（建物面積は人員2名までは25㎡を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することができる。）</p> <p>M：月数（必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、小数1位止めとする。）</p> <p>t：次の項目に要する費用</p> <p>a. 備品（机、いす、黒板、温度計、書箱、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応接セット）に要する費用</p> <p>備品は損料として13,800円/月を計上する。</p> <p>b. その他、現場条件等により、積上げを要する費用。</p> <p>注1. 備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。</p> <p>注2. 上記のE_kについては、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれていない。</p> <p>注3. 電気、水道、ガスに係る既設の供給管（線）と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することができる。</p> <p>注4. 監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途考慮することができる。</p> <p>ア 現場事務所、監督員詰所等の美装化、シャワーの設置、トイレの水洗化等に要する費用とし、積算方法は「3-8 イメージアップ経費」の積算による。</p> <p>イ その他、現場条件等により積上げを要する費用。</p>

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																																																																				
<p>語句の訂正</p> <p>重複文書の削除</p>	<p>(ア) 火薬庫類</p> <p>a 火薬庫類の計上区分</p> <p>(a) 大規模工事（1工事の火薬使用量が、20t以上の工事）</p> <p>表2-8-1 火薬庫類等の計上区分及び規格</p> <table border="1" data-bbox="549 464 1213 720"> <thead> <tr> <th>火薬庫類等</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火薬庫</td> <td>2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m³</td> </tr> <tr> <td>火工品庫</td> <td>鋼製移動式 1t 3.2m³</td> </tr> <tr> <td>取扱所</td> <td>鋼製移動式 3.2m³</td> </tr> <tr> <td>火工所</td> <td>組立テント式 1.9m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 各都道府県等の条例、現場条件等により現場に火薬庫を設置することが不適当と判断される場合は小規模工事に準ずる。</p> <p>(b) 小規模工事（大規模以外の工事）</p> <p>表2-8-2 火薬庫類等の計上区分及び規格</p> <table border="1" data-bbox="540 848 1418 1003"> <thead> <tr> <th>火薬庫類等</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取扱所</td> <td>鋼製移動式 3.2m³</td> <td>1日の使用量が25kg以下の場合には計上しない。</td> </tr> <tr> <td>火工所</td> <td>組立テント式 1.9m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 交通不便な箇所において火薬庫を設置して火薬類を保管する必要があると判断される場合、又は各都道府県等で条例、その他別途定められている場合においては必要に応じて火薬庫を計上するものとする。</p> <p>b 火薬庫類の営繕損料</p> <p>表2-8-3 1現場当り火薬庫類損料</p> <table border="1" data-bbox="540 1165 1427 1377"> <thead> <tr> <th>火薬庫類等</th> <th>規 格</th> <th>損料(2年以下一律) (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火薬庫</td> <td>2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m³</td> <td>620,000</td> </tr> <tr> <td>火工品庫</td> <td>鋼製移動式 1t 3.2m³</td> <td>523,000</td> </tr> <tr> <td>取扱所</td> <td>鋼製移動式 3.2m³</td> <td>459,000</td> </tr> <tr> <td>火工所</td> <td>組立テント式 1.9m³</td> <td>54,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 1現場当りの使用期間が2年を超える場合は下記のとおりとする。</p> <p>(1) 2～4年の場合は、上表損料の40%増とする。</p> <p>(2) 4年を超える場合は、火薬庫類の耐用年数を考慮して別途積算する。</p> <p>注2. 火薬庫類損料には、火薬庫類の設置・撤去、立入防止柵、警報装置等の費用を含む。</p> <p>c 保安管理費</p> <p>火薬庫、火工品庫を設置する工事にあたっては、火薬類盗難防止の万全を期するため、必要に応じて夜間巡回等の見張人を安全費に計上するものとする。ただし、上記の場合は特記仕様書にその旨を記載するものとし、次式により算定する。</p> <p>保安管理費＝火薬庫類設置期間（月）×30日/月×普通作業員単価（昼間単価）</p> <p>（注）火薬庫類設置期間は火薬を使用する工種の設計工程から求めるものとし、0.5ヶ月単位（2捨3入）とする。</p> <p>d 火薬庫類の設置にあたり土地の借上げが必要な場合は別途考慮することができる。</p>	火薬庫類等	規 格	火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³	火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³	取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	火工所	組立テント式 1.9m ³	火薬庫類等	規 格	摘 要	取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	1日の使用量が25kg以下の場合には計上しない。	火工所	組立テント式 1.9m ³		火薬庫類等	規 格	損料(2年以下一律) (円)	火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³	620,000	火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³	523,000	取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	459,000	火工所	組立テント式 1.9m ³	54,000	<p>(イ) 火薬庫類</p> <p>a 火薬庫類の計上区分</p> <p>(a) 大規模工事（1工事の火薬使用量が、20t以上の工事）</p> <p>表2-8-1 火薬庫類等の計上区分及び規格</p> <table border="1" data-bbox="1804 464 2469 720"> <thead> <tr> <th>火薬庫類等</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火薬庫</td> <td>2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m³</td> </tr> <tr> <td>火工品庫</td> <td>鋼製移動式 1t 3.2m³</td> </tr> <tr> <td>取扱所</td> <td>鋼製移動式 3.2m³</td> </tr> <tr> <td>火工所</td> <td>組立テント式 1.9m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 各都道府県等の条例、現場条件等により現場に火薬庫を設置することが不適当と判断される場合は小規模工事に準ずる。</p> <p>(b) 小規模工事（大規模以外の工事）</p> <p>表2-8-2 火薬庫類等の計上区分及び規格</p> <table border="1" data-bbox="1795 848 2674 1003"> <thead> <tr> <th>火薬庫類等</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取扱所</td> <td>鋼製移動式 3.2m³</td> <td>1日の使用量が25kg以下の場合には計上しない。</td> </tr> <tr> <td>火工所</td> <td>組立テント式 1.9m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 交通不便な箇所において火薬庫を設置して火薬類を保管する必要があると判断される場合、又は各都道府県等で条例、その他別途定められている場合においては必要に応じて火薬庫を計上するものとする。</p> <p>b 火薬庫類の営繕損料</p> <p>表2-8-3 1現場当り火薬庫類損料</p> <table border="1" data-bbox="1795 1165 2683 1377"> <thead> <tr> <th>火薬庫類等</th> <th>規 格</th> <th>損料(2年以下一律) (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火薬庫</td> <td>2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m³</td> <td>620,000</td> </tr> <tr> <td>火工品庫</td> <td>鋼製移動式 1t 3.2m³</td> <td>523,000</td> </tr> <tr> <td>取扱所</td> <td>鋼製移動式 3.2m³</td> <td>459,000</td> </tr> <tr> <td>火工所</td> <td>組立テント式 1.9m³</td> <td>54,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 1現場当りの使用期間が2年を超える場合は下記のとおりとする。</p> <p>(1) 2～4年の場合は、上表損料の40%増とする。</p> <p>(2) 4年を超える場合は、火薬庫類の耐用年数を考慮して別途積算する。</p> <p>注2. 火薬庫類損料には、火薬庫類の設置・撤去、立入防止柵、警報装置等の費用を含む。</p> <p>c 保安管理費</p> <p>火薬庫、火工品庫を設置する工事にあたっては、火薬類盗難防止の万全を期するため、必要に応じて夜間巡回等の見張人を安全費に計上するものとする。ただし、上記の場合は特記仕様書にその旨を記載するものとし、次式により算定する。</p> <p>保安管理費＝火薬庫類設置期間（月）×30日/月×普通作業員単価（昼間単価）</p> <p>（注）火薬庫類設置期間は火薬を使用する工種の設計工程から求めるものとし、0.5ヶ月単位（2捨3入）とする。</p> <p>(二) 火薬庫類の設置にあたり土地の借上げが必要な場合は別途考慮することができる。</p> <p>イ その他、現場条件等により積上げを要する費用。</p>	火薬庫類等	規 格	火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³	火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³	取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	火工所	組立テント式 1.9m ³	火薬庫類等	規 格	摘 要	取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	1日の使用量が25kg以下の場合には計上しない。	火工所	組立テント式 1.9m ³		火薬庫類等	規 格	損料(2年以下一律) (円)	火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³	620,000	火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³	523,000	取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	459,000	火工所	組立テント式 1.9m ³	54,000
火薬庫類等	規 格																																																																					
火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³																																																																					
火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³																																																																					
取扱所	鋼製移動式 3.2m ³																																																																					
火工所	組立テント式 1.9m ³																																																																					
火薬庫類等	規 格	摘 要																																																																				
取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	1日の使用量が25kg以下の場合には計上しない。																																																																				
火工所	組立テント式 1.9m ³																																																																					
火薬庫類等	規 格	損料(2年以下一律) (円)																																																																				
火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³	620,000																																																																				
火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³	523,000																																																																				
取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	459,000																																																																				
火工所	組立テント式 1.9m ³	54,000																																																																				
火薬庫類等	規 格																																																																					
火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³																																																																					
火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³																																																																					
取扱所	鋼製移動式 3.2m ³																																																																					
火工所	組立テント式 1.9m ³																																																																					
火薬庫類等	規 格	摘 要																																																																				
取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	1日の使用量が25kg以下の場合には計上しない。																																																																				
火工所	組立テント式 1.9m ³																																																																					
火薬庫類等	規 格	損料(2年以下一律) (円)																																																																				
火薬庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t 庫 5.0m ³	620,000																																																																				
火工品庫	鋼製移動式 1t 3.2m ³	523,000																																																																				
取扱所	鋼製移動式 3.2m ³	459,000																																																																				
火工所	組立テント式 1.9m ³	54,000																																																																				

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																						
<p>補正区分の見直し 加算から乗算への変更</p>	<p>3-3 現場管理費 (1) 現場管理費の項目及び内容 略 (2) 現場管理費の算定 ア 現場管理費は表3-3-3の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該純工事費に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p style="text-align: center;">現場管理費＝純工事費×現場管理費率（Jo）</p> <p>イ 2種以上の工種からなる工事については、その主たる工種の現場管理費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとられることなく工種を選定するものとする。 ウ 設計変更で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。</p> <p>(3) 現場管理費率の補正 ア 施工時期、工事期間等による補正率 施工時期、工事期間等を考慮して、表3-3-3の工種別現場管理費率標準値を2%の範囲内で適切に加算することができる。ただし重複する場合は、最高2%とする。 (ア) 積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合 a. 積雪寒冷地域の範囲………人事院規則に規定される寒冷地手当を支給する地域とする。 b. 積雪寒冷地の施工期間を次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="492 1073 1403 1224"> <thead> <tr> <th>施行時期</th> <th>適用地域</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月1日～3月31日</td> <td>北海道、青森県、秋田県</td> <td>積雪地特性を11月中の除雪が5日以上あることとした。</td> </tr> <tr> <td>12月1日～3月31日</td> <td>上記以外の地域</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 工場製作工事及び冬期条件下で施工することが前提となっている除排雪工事等は適用しない。 d. 現場管理費率の補正係数は表3-3-1によるものとする。 補正值（%）＝冬期率×補正係数（表3-3-1） 冬期率＝12月1日～3月31日（11月1日～3月31日）までの工事期間/工期 ただし、工期については実際に工事を施工するために要する期間で、準備期間と後片付期間を含めた期間とする。また、冬期工事期間に準備または後片付が掛かる場合は、準備期間と後片付期間を含めた期間とする。</p> <p>表3-3-1 補正係数</p> <table border="1" data-bbox="492 1514 1003 1675"> <thead> <tr> <th>積雪寒冷地域の区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 級地</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>2 〃</td> <td>1.60</td> </tr> <tr> <td>3 〃</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>4 〃</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 冬期率は小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。 注2. 補正率は小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。 注3. 施工地域が2つ以上となる場合には、補正係数の大きい方を適用する</p>	施行時期	適用地域	備考	11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の除雪が5日以上あることとした。	12月1日～3月31日	上記以外の地域		積雪寒冷地域の区分	補正係数	1 級地	1.80	2 〃	1.60	3 〃	1.40	4 〃	1.20	<p>3-3 現場管理費 (1) 現場管理費の項目及び内容 略 (2) 現場管理費の算定 ア 現場管理費は表3-3-3の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該純工事費に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p style="text-align: center;">現場管理費＝純工事費×現場管理費率（Jo）</p> <p>イ 2種以上の工種からなる工事については、その主たる工種の現場管理費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとられることなく工種を選定するものとする。 ウ 設計変更で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。</p> <p>(3) 現場管理費率の補正 ア 施工時期、工事期間等による補正率 施工時期、工事期間等を考慮して、表3-3-3の工種別現場管理費率標準値を2%の範囲内で適切に加算することができる。ただし重複する場合は、最高2%とする。 (ア) 積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合 a. 積雪寒冷地域の範囲………人事院規則に規定される寒冷地手当を支給する地域とする。 b. 積雪寒冷地の施工期間を次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1748 1073 2659 1224"> <thead> <tr> <th>施行時期</th> <th>適用地域</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月1日～3月31日</td> <td>北海道、青森県、秋田県</td> <td>積雪地特性を11月中の除雪が5日以上あることとした。</td> </tr> <tr> <td>12月1日～3月31日</td> <td>上記以外の地域</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 工場製作工事及び冬期条件下で施工することが前提となっている除排雪工事等は適用しない。 d. 現場管理費率の補正係数は表3-3-1によるものとする。 補正值（%）＝冬期率×補正係数（表3-3-1） 冬期率＝12月1日～3月31日（11月1日～3月31日）までの工事期間/工期 ただし、工期については実際に工事を施工するために要する期間で、準備期間と後片付期間を含めた期間とする。また、冬期工事期間に準備または後片付が掛かる場合は、準備期間と後片付期間を含めた期間とする。</p> <p>表3-3-1 補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1748 1514 2258 1675"> <thead> <tr> <th>積雪寒冷地域の区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 級地</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>2 〃</td> <td>1.60</td> </tr> <tr> <td>3 〃</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>4 〃</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 冬期率は小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。 注2. 補正率は小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。 注3. 施工地域が2つ以上となる場合には、補正係数の大きい方を適用する</p>	施行時期	適用地域	備考	11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の除雪が5日以上あることとした。	12月1日～3月31日	上記以外の地域		積雪寒冷地域の区分	補正係数	1 級地	1.80	2 〃	1.60	3 〃	1.40	4 〃	1.20
施行時期	適用地域	備考																																						
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の除雪が5日以上あることとした。																																						
12月1日～3月31日	上記以外の地域																																							
積雪寒冷地域の区分	補正係数																																							
1 級地	1.80																																							
2 〃	1.60																																							
3 〃	1.40																																							
4 〃	1.20																																							
施行時期	適用地域	備考																																						
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の除雪が5日以上あることとした。																																						
12月1日～3月31日	上記以外の地域																																							
積雪寒冷地域の区分	補正係数																																							
1 級地	1.80																																							
2 〃	1.60																																							
3 〃	1.40																																							
4 〃	1.20																																							

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																												
	<p>イ 施工地域、工事場所による補正率 (ア) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正は表3-3-3の現場管理費率標準値に表3-3-2の補正係数を乗じるものとする。 表3-3-2</p> <table border="1" data-bbox="498 548 1136 831"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全地域</td> <td>一般交通影響あり①</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>一般交通影響あり②</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>市街地</td> <td>一般交通影響なし</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山間僻地及び離島</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市街地：施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度内が4,000人/km²以上で、その全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島：施工地域が人事院規則における特勤手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地方部：施工地域が上記以外の地区をいう。 注2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通影響あり①：2車線以上（片側1車線以上）かつ交通量が5,000台/日以上以上の車道において規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。 一般交通影響あり②：一般交通影響あり①以外の車道において規制を行う場合。（常時全面通行止めの場合を含む） 注3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において、施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合には、補正係数の大きい方を適用する。</p> <p>ウ その他 設計変更時における現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できること</p> <p>(4)～(7) 略</p>	施工地域・工事場所区分		補正係数	全地域	一般交通影響あり①	1.1	一般交通影響あり②	1.1	市街地	一般交通影響なし	1.1	山間僻地及び離島		1.0	<p>イ 施工地域、工事場所による補正率 (ア) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正は表3-3-3の現場管理費率標準値に表3-3-2の補正値を加算するものとする。 表3-3-2 補正值</p> <table border="1" data-bbox="1724 548 2362 831"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事箇所区分</th> <th>補正率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市 街 地</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山 間 僻 地 及 び 離 島</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地方部</td> <td>施工場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>施工場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市街地：施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度内が4,000人/km²以上で、その全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島：施工地域が人事院規則における特勤手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地方部：施工地域が上記以外の地区をいう。 注2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通等の影響：①施工場所において一般交通の影響を受ける場合 ② 〃 地下埋設物件の影響を受ける場合 ③ 〃 50m以内に人家等が連なっている場合 注3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において、施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合には、補正率の大きい方を適用する。</p> <p>ウ その他 設計変更時における現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p> <p>(4)～(7) 略</p>	施工地域・工事箇所区分		補正率 (%)	市 街 地		1.5	山 間 僻 地 及 び 離 島		0.5	地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	—
施工地域・工事場所区分		補正係数																												
全地域	一般交通影響あり①	1.1																												
	一般交通影響あり②	1.1																												
市街地	一般交通影響なし	1.1																												
山間僻地及び離島		1.0																												
施工地域・工事箇所区分		補正率 (%)																												
市 街 地		1.5																												
山 間 僻 地 及 び 離 島		0.5																												
地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0																												
	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	—																												

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																																										
<p>補正区分の見直し 加算から乗算への変更</p>	<p>(8) 現場管理費の計算</p> <p>現場管理費＝対象純工事費× { (現場管理費率標準値×施工地域・工事場所区分による補正係数) + 補正值 }</p> <p>対象純工事費：純工事費＋支給品費 ただし、現場管理費率標準値は、第3-3-3による。 補正值は、(3)現場管理費の算定による。</p> <p>表3-3-3 現場管理費率標準値</p> <table border="1" data-bbox="400 661 1537 1050"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額(N_p) 適用区分</th> <th>1,000万円以下</th> <th colspan="2">1,000万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">A×N_pbにより算定された率とする。 ただし、変数値は下記による。</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>工種区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開削工事及び小口径推進工事</td> <td>27.45%</td> <td>158.8</td> <td>-0.1089</td> <td>15.42%</td> </tr> <tr> <td>シールド工事及び推進工事</td> <td>27.40%</td> <td>41.6</td> <td>-0.0259</td> <td>23.89%</td> </tr> <tr> <td>構造物工事（浄水場等）</td> <td>17.55%</td> <td>26.9</td> <td>-0.0265</td> <td>15.25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9) 算定式 $J_o = A \cdot N_p^b$ ただし、 J_o：現場管理費率（%） N_p：純工事費（円） A、b：変数値</p> <p>(注) J_oの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。</p>	対象額(N _p) 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	A×N _p bにより算定された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする	工種区分		A	b		開削工事及び小口径推進工事	27.45%	158.8	-0.1089	15.42%	シールド工事及び推進工事	27.40%	41.6	-0.0259	23.89%	構造物工事（浄水場等）	17.55%	26.9	-0.0265	15.25%	<p>(8) 現場管理費の計算</p> <p>現場管理費＝対象純工事費×（現場管理費率標準値＋補正值） 対象純工事費：純工事費＋支給品費</p> <p>表3-3-3 現場管理費率標準値</p> <table border="1" data-bbox="1656 598 2792 987"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額(N_p) 適用区分</th> <th>1,000万円以下</th> <th colspan="2">1,000万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">A×N_pbにより算定された率とする。 ただし、変数値は下記による。</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>工種区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開削工事及び小口径推進工事</td> <td>27.45%</td> <td>158.8</td> <td>-0.1089</td> <td>15.42%</td> </tr> <tr> <td>シールド工事及び推進工事</td> <td>27.40%</td> <td>41.6</td> <td>-0.0259</td> <td>23.89%</td> </tr> <tr> <td>構造物工事（浄水場等）</td> <td>17.55%</td> <td>26.9</td> <td>-0.0265</td> <td>15.25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9) 算定式 $J_o = A \cdot N_p^b$ ただし、 J_o：現場管理費率（%） N_p：純工事費（円） A、b：変数値</p> <p>(注) J_oの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。</p>	対象額(N _p) 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	A×N _p bにより算定された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする	工種区分		A	b		開削工事及び小口径推進工事	27.45%	158.8	-0.1089	15.42%	シールド工事及び推進工事	27.40%	41.6	-0.0259	23.89%	構造物工事（浄水場等）	17.55%	26.9	-0.0265	15.25%
対象額(N _p) 適用区分	1,000万円以下		1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																							
	下記の率とする	A×N _p bにより算定された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする																																																								
工種区分		A	b																																																									
開削工事及び小口径推進工事	27.45%	158.8	-0.1089	15.42%																																																								
シールド工事及び推進工事	27.40%	41.6	-0.0259	23.89%																																																								
構造物工事（浄水場等）	17.55%	26.9	-0.0265	15.25%																																																								
対象額(N _p) 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																								
	下記の率とする	A×N _p bにより算定された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする																																																								
工種区分		A	b																																																									
開削工事及び小口径推進工事	27.45%	158.8	-0.1089	15.42%																																																								
シールド工事及び推進工事	27.40%	41.6	-0.0259	23.89%																																																								
構造物工事（浄水場等）	17.55%	26.9	-0.0265	15.25%																																																								

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																		
<p>語句訂正 率変更</p>	<p>3-8 現場環境改善費</p> <p>(1) 対象となる内容 工事に伴い実施する現場環境改善(仮設備関係、営繕関係、安全関係)及び地域連携に関するものを対象とする。</p> <p>(2) 適用の範囲 周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、全ての屋外工事を対象とする。ただし、維持工事等(配水管布設工事等)で実施が困難なもの及び効果が期待出来ないものについては、対象外とすることができる。</p> <p>(3) 積算方法 1) 現場環境改善費の積算について 現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善を行う場合は率計上とし、特別な現場環境改善を行う場合は積上げ計上とする。 ア 積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。 $K = i \cdot P_i + \alpha$ ただしK：現場環境改善費に要する費用(単位：円、1000円未満切り捨て) i：現場環境改善費率(単位：%、少数第3位四捨五入2位止め) P_i：対象額(直接工事費(処分費等を除く共通仮設費対象分) + 支給品費(共通仮設費対象分)) なお、対象額が5億円を超える場合は5億円とする。 α：積上げ計上分(単位：円、1000円未満切り捨て)</p> <table border="1" data-bbox="382 1064 1552 1377"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">対象額：P_i</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現場環境改善費率：i (%)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>地方部</th> <th>市街地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">直接工事費(処分費等を除く共通仮設費対象分) + 支給品費(共通仮設費対象分)</td> <td>5億円以下の場合</td> <td>$i=39.9 \cdot P_i^{-0.201}$</td> <td>$i=56.6 \cdot P_i^{-0.174}$</td> </tr> <tr> <td>5億円を超える場合</td> <td>0.71</td> <td>1.73</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 率に計上されるものは表3-8-1の内容のうち原則として各計上費目(現場環境改善費のうち仮設備関係、営繕関係、安全関係、及び地域連携)毎に1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を基本とした費用である。また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更しても良い。</p> <p>ウ 積上げ計上分(α)に計上するものは、費用が巨額となるため現場環境改善費率分で行うことが適当でないと判断されるものとする。</p>			対象額： P_i		現場環境改善費率：i (%)				地方部	市街地	直接工事費(処分費等を除く 共通仮設費対象分) + 支給品費(共通仮設費対象分)	5億円以下の場合	$i=39.9 \cdot P_i^{-0.201}$	$i=56.6 \cdot P_i^{-0.174}$	5億円を超える場合	0.71	1.73	<p>3-8 イメージアップ経費</p> <p>(1) 対象となるイメージアップ内容 工事に伴い実施する仮設備、営繕施設、安全施設のイメージアップ及び地域とのコミュニケーション等に関するものを対象とする。</p> <p>(2) 適用の範囲 周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、全ての屋外工事を対象とする。ただし、維持工事等(配水管布設工事等)でイメージアップの実施が困難なもの及び効果が期待出来ないものについては、対象外とする。</p> <p>(3) 積算方法 1) イメージアップ経費の積算について イメージアップ経費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的なイメージアップを行う場合は率計上とし、特別なイメージアップを行う場合は積上げ計上とする。 ア 積算方法は以下のとおりとし、イメージアップ経費に計上するものとする。 $K = i \cdot P_i + \alpha$ ただしK：イメージアップに要する費用(単位：円、1000円未満切り捨て) i：イメージアップ費率(単位：%、少数第3位四捨五入2位止め) $i = 11.0 \cdot P_i^{-0.1380}$ (P_iが5億円を超える場合は0.69%とする) ただし、市街地についてはiに1.5%を加算する。 P_i：対象額(直接工事費(処分費等を除く共通仮設費対象分) + 支給品費(共通仮設費対象分)) なお、対象額が5億円を超える場合は5億円とする。 α：積上げ計上分(単位：円、1000円未満切り捨て)</p> <table border="1" data-bbox="1745 1125 2700 1404"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">対象額：P_i</th> </tr> <tr> <th colspan="2">イメージアップ費率：i (%)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>地方部</th> <th>市街地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">直接工事費(処分費等を除く) + 支給品費</td> <td>5億円以下の場合</td> <td>$i=11.0 \cdot P_i^{-0.138}$</td> <td>$i=11.0 \cdot P_i^{-0.138} + 1.5$</td> </tr> <tr> <td>5億円を超える場合</td> <td>0.69</td> <td>2.19</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ. 率に計上されるものは表3-8-1の内容のうち原則として各計上費目ごと(仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域とのコミュニケーション)に1内容ずつ(いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を基本とした費用である。また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更しても良い。</p> <p>ウ. 積上げ計上分(α)に計上するものは、費用が巨額となるためイメージアップ率分で行うことが適当でないと判断されるものとする。</p>			対象額： P_i		イメージアップ費率：i (%)				地方部	市街地	直接工事費(処分費等を除く) + 支給品費	5億円以下の場合	$i=11.0 \cdot P_i^{-0.138}$	$i=11.0 \cdot P_i^{-0.138} + 1.5$	5億円を超える場合	0.69	2.19
				対象額： P_i																																
		現場環境改善費率：i (%)																																		
		地方部	市街地																																	
直接工事費(処分費等を除く 共通仮設費対象分) + 支給品費(共通仮設費対象分)	5億円以下の場合	$i=39.9 \cdot P_i^{-0.201}$	$i=56.6 \cdot P_i^{-0.174}$																																	
	5億円を超える場合	0.71	1.73																																	
		対象額： P_i																																		
		イメージアップ費率：i (%)																																		
		地方部	市街地																																	
直接工事費(処分費等を除く) + 支給品費	5億円以下の場合	$i=11.0 \cdot P_i^{-0.138}$	$i=11.0 \cdot P_i^{-0.138} + 1.5$																																	
	5億円を超える場合	0.69	2.19																																	

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																				
<p>語句訂正</p>	<p>2) 設計変更について 率に計上されるものについては、設計変更を行わないものとする。ただし、対象金額 (P_i) の変動に伴う現場環境改善費率 i は変更される。また、積上げ計上分 (α) については、内容に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。</p> <p>表 3-8-1</p> <table border="1" data-bbox="412 478 1486 1010"> <thead> <tr> <th>計上費目</th> <th>実施する内容(率計上分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場環境改善費 (仮設備関係)</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>現場環境改善費 (営繕関係)</td> <td>1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>現場環境改善費 (安全関係)</td> <td>1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献</td> </tr> </tbody> </table>	計上費目	実施する内容(率計上分)	現場環境改善費 (仮設備関係)	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減	現場環境改善費 (営繕関係)	1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	現場環境改善費 (安全関係)	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑 (熱中症予防) ・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献	<p>2) 設計変更について 率に計上されるものについては、設計変更を行わないものとする。ただし、対象金額 (P_i) の変動に伴うイメージアップ費率 i は変更される。また、積上げ計上分 (α) については、内容に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。</p> <p>表 3-8-1</p> <table border="1" data-bbox="1700 478 2775 978"> <thead> <tr> <th>計上費目</th> <th>実施する内容(率計上分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化、2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑・防寒対策</td> </tr> <tr> <td>地域とのコミュニケーション</td> <td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献</td> </tr> </tbody> </table>	計上費目	実施する内容(率計上分)	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化、2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑・防寒対策	地域とのコミュニケーション	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献
計上費目	実施する内容(率計上分)																					
現場環境改善費 (仮設備関係)	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減																					
現場環境改善費 (営繕関係)	1. 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等																					
現場環境改善費 (安全関係)	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑 (熱中症予防) ・防寒対策																					
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献																					
計上費目	実施する内容(率計上分)																					
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減																					
営繕関係	1. 現場事務所の快適化、2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等																					
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑・防寒対策																					
地域とのコミュニケーション	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献																					

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）			現行（平成 30 年 4 月）		
直接工事費へ交通誘導警備員の追加 語句訂正	3-10 請負工事費内訳書作成例			3-10 請負工事費内訳書作成例		
	種 別	単位止め	摘 要	種 別	単位止め	摘 要
	管材費		A	管材費		A
	管路土工			管路土工		
	給水管布設工			給水管布設工		
	配水管布設工			配水管布設工		
	給水管付替工			給水管付替工		
	弁設置工			弁設置工		
	筐設置工			筐設置工		
	連絡工			連絡工		
	管路土留工			管路土留工		
	舗装撤去工			舗装撤去工		
	舗装復旧工			舗装復旧工		
	仮設工		交通誘導警備員	小計		B
	小計		B	直接工事費計		上記合計額=A+B C
	直接工事費計		上記合計額=A+B C	運搬費		積上げ D
	運搬費		積上げ D	準備費		積上げ E
	準備費		積上げ E	事業損失防止施設費		積上げ F
	事業損失防止施設費		積上げ F	安全費		積上げ G
	安全費		積上げ G	役務費		積上げ H
	役務費		積上げ H	技術管理費		積上げ I
	技術管理費		積上げ I	営繕費		積上げ J
	営繕費		積上げ J	共通仮設費(率)	千円止め	率計算 K
	共通仮設費(率)	千円止め	率計算 K	イメージアップ経費(率)	千円止め	率計算 L
	現場環境改善費(率)	千円止め	率計算 L	イメージアップ経費	千円止め	積上げ M
	現場環境改善費	千円止め	積上げ M	共通仮設費計		D+E+F+G+H+I+J+K+L+M N
	共通仮設費計		D+E+F+G+H+I+J+K+L+M N	純工事費		直接工事費+共通仮設費計=C+N O
	純工事費		直接工事費+共通仮設費計=C+N O	現場管理費	千円止め	率計算 P
現場管理費	千円止め	率計算 P	工事原価		純工事費+現場管理費=O+P Q	
工事原価		純工事費+現場管理費=O+P Q	一般管理費等		率計算 R	
一般管理費等		率計算 R	スクラップ評価額		積上げ S	
スクラップ評価額		積上げ S	工事価格	万円止め	Q+R+S 50万円未満は千円止め T	
工事価格	万円止め	Q+R+S 50万円未満は千円止め T	消費税相当額		U	
消費税相当額		U	請負工事費		T+U V	
請負工事費		T+U V				

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																																																																																																																																																		
<p>説明文追加 水道工種の追加</p>	<p>第 4 節 数値基準</p> <p>4-1 数値基準</p> <p>4-1-1 設計書（内訳書）の表示単位及び数値</p> <p>(1) 設計書（内訳書）の表示単位及び数値は、表 4-1 数値基準に示すとおりとし表示数値下一位を四捨五入することとする。</p> <p>(2) 設計数量が表示数値に満たない場合及び、工事規模、工事内容等により、設計表示数値が不適当と判断される場合は、有効数値第 1 位の数量を設計表示数値とする。</p> <p>(3) 数値基準にない工種は神奈川県県土整備局土木工事標準積算基準書による他、類似工種の準用、又は工事規模、工事内容及び数値基準等を勘案して適正に定めるものとする。</p> <p>(4) 設計表示数値に満たない設計変更は契約変更の対象としないものとする。</p> <p>(5) 単価契約には設計表示単位及び数値は適用しない。</p> <p>表 4-1 数値基準</p> <table border="1" data-bbox="418 884 1492 1629"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>種別</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">一般</td> <td>施工延長</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管布設延長</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">共通工</td> <td>防食テープ巻付工</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエチレンスリーブ被覆工</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>明示テープ巻付工</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">配水管布設工</td> <td>鋳鉄管据付工</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伸縮可とう管設置工</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水圧試験</td> <td>口</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">鋼管布設工</td> <td>不断水式割T字管取出工</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管据付工</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス鋼管据付工</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管溶接工</td> <td>口</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管外面塗装工</td> <td>口</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管内面塗装工</td> <td>口</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>X線検査</td> <td>口</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>超音波探傷検査</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種	種別	単位	数値	備考	一般	施工延長	m	0.1		管布設延長	m	0.1		共通工	防食テープ巻付工	m	0.1		ポリエチレンスリーブ被覆工	m	0.1		明示テープ巻付工	m	0.1		配水管布設工	鋳鉄管据付工	m	0.1		伸縮可とう管設置工	箇所	1		水圧試験	口	1		鋼管布設工	不断水式割T字管取出工	箇所	1		鋼管据付工	m	0.1		ステンレス鋼管据付工	m	0.1		鋼管溶接工	口	1		鋼管外面塗装工	口	1		鋼管内面塗装工	口	1		X線検査	口	1		超音波探傷検査	箇所	1		<p>第 4 節 数値基準</p> <p>4-1 数値基準</p> <p>4-1-1 設計書（内訳書）の表示単位及び数値</p> <p>(1) 設計書（内訳書）の表示単位及び数値は、表 4-1 数値基準に示すとおりとし表示数値下一位を四捨五入することとする。</p> <p>(2) 設計数量が表示数値に満たない場合及び、工事規模、工事内容等により、設計表示数値が不適当と判断される場合は、有効数値第 1 位の数量を設計表示数値とする。</p> <p>(3) 数値基準以外の項目について、設計表示単位及び数値を定める必要が生じたときは、工事規模、工事内容及び数値基準等を勘案して適正に定めるものとする。</p> <p>(4) 設計表示数値に満たない設計変更は契約変更の対象としないものとする。</p> <p>(5) 単価契約には設計表示単位及び数値は適用しない。</p> <p>表 4-1 数値基準</p> <table border="1" data-bbox="1611 873 2748 1808"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>種別</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">一般</td> <td>施工延長</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管布設延長</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">土工</td> <td>掘削・切土・土砂類</td> <td>m³</td> <td>1</td> <td>ただし1,000m³以上は100m³ 100m³以上は10m³</td> </tr> <tr> <td>岩類</td> <td>m³</td> <td>1</td> <td>ただし100m³以上は10m³</td> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>m³</td> <td>1</td> <td>ただし1,000m³以上は100m³ 100m³以上は10m³</td> </tr> <tr> <td>発生土処理工</td> <td>m³</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="9">仮設工</td> <td>軽量鋼矢板等</td> <td>t</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼矢板</td> <td>枚</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆工板、敷鉄板</td> <td>m²</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横矢板</td> <td>m²</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H鋼杭</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>切梁</td> <td>m³</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>腹起し</td> <td>m</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>足場工</td> <td>掛m²</td> <td>1</td> <td>100掛m²以上は10掛m²</td> </tr> <tr> <td>支保工</td> <td>空m²</td> <td>1</td> <td>100空m²以上は10空m²</td> </tr> <tr> <td>水替工</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎工</td> <td>杭打工</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼杭</td> <td>m 本</td> <td>0.5 1</td> <td>ただし打込長は0.1m</td> </tr> <tr> <td>PC・RC・PHC杭</td> <td>m 本</td> <td>1 1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>場所打杭</td> <td>m 本</td> <td>0.1 1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種	種別	単位	数値	備考	一般	施工延長	m	0.1		管布設延長	m	0.1		土工	掘削・切土・土砂類	m ³	1	ただし1,000m ³ 以上は100m ³ 100m ³ 以上は10m ³	岩類	m ³	1	ただし100m ³ 以上は10m ³	盛土	m ³	1	ただし1,000m ³ 以上は100m ³ 100m ³ 以上は10m ³	発生土処理工	m ³	1		仮設工	軽量鋼矢板等	t	0.1		鋼矢板	枚	1		覆工板、敷鉄板	m ²	1		横矢板	m ²	1		H鋼杭	本	1		切梁	m ³	0.1		腹起し	m	0.1		足場工	掛m ²	1	100掛m ² 以上は10掛m ²	支保工	空m ²	1	100空m ² 以上は10空m ²	水替工	日	1		基礎工	杭打工				鋼杭	m 本	0.5 1	ただし打込長は0.1m	PC・RC・PHC杭	m 本	1 1	〃	場所打杭	m 本	0.1 1	
工種	種別	単位	数値	備考																																																																																																																																																																
一般	施工延長	m	0.1																																																																																																																																																																	
	管布設延長	m	0.1																																																																																																																																																																	
共通工	防食テープ巻付工	m	0.1																																																																																																																																																																	
	ポリエチレンスリーブ被覆工	m	0.1																																																																																																																																																																	
	明示テープ巻付工	m	0.1																																																																																																																																																																	
配水管布設工	鋳鉄管据付工	m	0.1																																																																																																																																																																	
	伸縮可とう管設置工	箇所	1																																																																																																																																																																	
	水圧試験	口	1																																																																																																																																																																	
鋼管布設工	不断水式割T字管取出工	箇所	1																																																																																																																																																																	
	鋼管据付工	m	0.1																																																																																																																																																																	
	ステンレス鋼管据付工	m	0.1																																																																																																																																																																	
	鋼管溶接工	口	1																																																																																																																																																																	
	鋼管外面塗装工	口	1																																																																																																																																																																	
	鋼管内面塗装工	口	1																																																																																																																																																																	
	X線検査	口	1																																																																																																																																																																	
超音波探傷検査	箇所	1																																																																																																																																																																		
工種	種別	単位	数値	備考																																																																																																																																																																
一般	施工延長	m	0.1																																																																																																																																																																	
	管布設延長	m	0.1																																																																																																																																																																	
土工	掘削・切土・土砂類	m ³	1	ただし1,000m ³ 以上は100m ³ 100m ³ 以上は10m ³																																																																																																																																																																
	岩類	m ³	1	ただし100m ³ 以上は10m ³																																																																																																																																																																
	盛土	m ³	1	ただし1,000m ³ 以上は100m ³ 100m ³ 以上は10m ³																																																																																																																																																																
	発生土処理工	m ³	1																																																																																																																																																																	
仮設工	軽量鋼矢板等	t	0.1																																																																																																																																																																	
	鋼矢板	枚	1																																																																																																																																																																	
	覆工板、敷鉄板	m ²	1																																																																																																																																																																	
	横矢板	m ²	1																																																																																																																																																																	
	H鋼杭	本	1																																																																																																																																																																	
	切梁	m ³	0.1																																																																																																																																																																	
	腹起し	m	0.1																																																																																																																																																																	
	足場工	掛m ²	1	100掛m ² 以上は10掛m ²																																																																																																																																																																
	支保工	空m ²	1	100空m ² 以上は10空m ²																																																																																																																																																																
水替工	日	1																																																																																																																																																																		
基礎工	杭打工																																																																																																																																																																			
	鋼杭	m 本	0.5 1	ただし打込長は0.1m																																																																																																																																																																
	PC・RC・PHC杭	m 本	1 1	〃																																																																																																																																																																
場所打杭	m 本	0.1 1																																																																																																																																																																		

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正 (平成 30 年 7 月)					現行 (平成 30 年 4 月)					
	工種	種別	単位	数値	備考	工種	種別	単位	数値	備考	
例 ・掘削積込工 0.72 m ³ ⇒ 0.7 m ³ 1.8 m ³ ⇒ 2 m ³	継手類	防食ゴム取付工	口	1		基礎工	矢板等(材料・打込長)	m本	0.5 1	ただし打込長は0.1m	
		鋳鉄管接合工	口	1			砕石(栗石)基礎	m ³	1		
		フランジ接合工	口	1			法面工	法面整形	m ²	1	ただし100m ² 以上は10m ²
		鋼管溶接工	口	1				植生等による法面保護	m ²	1	ただし100m ² 以上は10m ²
	鋳鉄管切断	鋼管内面塗装工	口	1		構造物(モルタル吹付・法枠等)による法面保護	m ²	1			
		鋳鉄管切断	鋳鉄管切断工	口	1		擁壁工	ブロック積(張)基礎	m	1	
			溝切加工	口	1			ブロック積(張)	m ²	1	
			鋼管切断工	口	1		コンクリート工	均しコンクリート	m ³	1	ただし10m ³ 未満は0.1m ³
	ステンレス鋼管切断工		口	1		コンクリート(モルタル含む)		m ³	1	ただし10m ³ 未満は0.1m ³	
	弁類及び 消火栓設置工	仕切弁・バタフライ弁設置工	箇所	1		型枠		m ²	1		
		空気弁設置工	箇所	1		目地材		m ²	1		
		消火栓設置工	箇所	1		止水板	m	1			
	管路土工	掘削積込工	m ³	1	ただし、1 m ³ 未満は少数第2位を四捨五入し 0.1 m ³ 単位、0.1 m ³ 未満は0.1 m ³ とする	鉄筋工・鋼材	t	0.01	ただし1t以上は0.1t		
		埋戻工	m ³	1		スリップバー	本	1			
		発生土処理工	m ³	1		付属施設	弁室、筐	箇所	1	プレキャスト含む	
	管路土留工	軽量鋼矢板設置撤去工	m	0.1		蓋	組	1			
		軽量鋼矢板賃料	t	0.1		舗装工	舗装(路床整正、路盤工含)	m ²	1	ただし1000m ² 以上は10m ²	
		切梁工(木製)	m ³	0.1			区画線、区画線消去	m	1		
		腹起し工(木製太鼓落)	m	0.1		排水工	L形、U形、管渠工	m	1	ただし径1m以上の管渠等は0.1m	
		切梁腹起し工(軽量金属製)	m	0.1			枘	箇所	1		
		足場工	掛m ²	1		現場塗装工	素地調整	m ²	1		
		支保工	空m ³	1			塗装(下、中、上塗)	m ²	1		
		水替工	日	1		取壊し工等	構造物取壊し	m ³	1		
	更生工	管据付	m	0.1			舗装版取壊し	m ²	1	ただし1000m ² 以上は10m ²	
		管接合	口	1			舗装版切断	m	1	ただし100m以上は10m	
		管挿入	m	0.1			産業廃棄物処理	m ³	1		
		推進設備工	箇所	1		水道管等撤去材	t	0.01			
		間隙充填工	m ³	1	ただし10m ³ 未満は0.1m ³ 単位	構内維持工	樹木剪定	本	1		
		既設管内清掃	m	0.1			移植、補植	本	1		
	取り壊し工等	舗装版切断	m	1			支柱	本	1		
		舗装版破碎	m ²	1	ただし、1 未満は少数第2位を四捨五入し 0.1 単位、0.1 未満は0.1 とする 単位はm ² 又はm ³		除草	m ²	1		
		コンクリート構造物取壊し	m ³	1		樹木施肥、防除	本	1	中低木は1m ²		
		産業廃棄物処理	m ³	1		灌水	m ²	1			
		水道管等撤去材	t	0.01		芝刈り	m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²		

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）				現行（平成30年4月）
	工種	種別	単位	数値	備考
	コンクリート工	型枠	m ²	1	ただし、1未満は少数第2位を四捨五入し 0.1単位、0.1未満は0.1とする 単位はm ² 又はm ³
		目地材	m ²	1	
		均しコンクリート	m ³	1	
		コンクリート	m ³	1	
		鉄筋工	t	0.01	
	路盤工	下層路盤(車道・路肩・歩道部)	m ²	1	ただし、1㎡未満は少数第2位を四捨五入し 0.1㎡単位、0.1㎡未満は0.1㎡とする
		上層路盤(車道・路肩・歩道部)	m ²	1	
	不陸整正工		m ²	1	ただし、1㎡未満は少数第2位を四捨五入し 0.1㎡単位、0.1㎡未満は0.1㎡とする
	舗装工	基層(車道・路肩・歩道部)	m ²	1	ただし、1㎡未満は少数第2位を四捨五入し 0.1㎡単位、0.1㎡未満は0.1㎡とする
		中間層(車道・路肩・歩道部)	m ²	1	
		表層(車道・路肩・歩道部)	m ²	1	
		区画線、区画線消去	m	1	
	排水工	L形、U形	m	1	ただし径1m以上の管渠類の場合は0.1m
	塗装工	素地調整	m ²	1	
		水管橋外面塗装(現場塗装)	m ²	1	
		水管橋外面塗装(新設管塗装)	m ²	1	
		外面塗装(FRP)	m ²	1	
		外面塗装(FRS)	m ²	1	
		ブチルコム系テープ工 (現場塗装)	m ²	1	
		ペトロラタム系防食工	m ²	1	
	防水工	防水工	m ²	1	
	構内維持工	樹木剪定	本	1	
		移植、補植	本	1	
		支柱	本	1	
		除草	m ²	1	
		樹木施肥、防除	本	1	
		灌水	m ²	1	
		芝刈り	m ²	10	ただし1,000m ² 未満は1m ²
	スクラップ等 評価額	水道管等撤去材処理料	t	0.1	
	<p>例</p> <p>・コンクリート 0.08m³ ⇒ 0.1m³</p> <p>1.8 m³ ⇒ 2 m³</p>				

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																																																																																																																																																																																																																																		
数値訂正	<p>4-1-2 数量計算及び単価表、代価表の数値</p> <p>(1) 数量計算の過程における数値及び代価表等における数値は表4-2数量計算過程の数値に示すとおりとし、表示数値下一位を四捨五入とする。</p> <p>表4-2 数量計算過程の数値</p> <table border="1" data-bbox="373 422 1359 1854"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種別</th> <th>単位</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">土工</td> <td>距離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止め</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>断面積</td> <td>m²</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>平均断面積</td> <td>m²</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">法面積</td> <td>土量</td> <td>m³</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止め</td> </tr> <tr> <td>法長</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>平均法長</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリートブロック積（張）面積</td> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止め</td> </tr> <tr> <td>法長</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート体積</td> <td>平均法長</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">型枠面積</td> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">足場・支保</td> <td>体積</td> <td>m³</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">舗装面積</td> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区画線</td> <td>延長</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼材（鉄筋含む）重量</td> <td>質量</td> <td>kg</td> <td>整数位止め</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塗装面積</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下3位止め</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種別	単位	数値	土工	距離	m	小数位以下1位止め	高さ	m	〃 2 〃	幅	m	〃 2 〃	断面積	m ²	〃 2 〃	平均断面積	m ²	〃 2 〃	法面積	土量	m ³	〃 1 〃	距離	m	小数位以下1位止め	法長	m	〃 1 〃	平均法長	m	〃 2 〃	コンクリートブロック積（張）面積	面積	m ²	〃 1 〃	距離	m	小数位以下1位止め	法長	m	〃 1 〃	コンクリート体積	平均法長	m	〃 2 〃	幅	m	小数位以下2位止め	高さ	m	〃 2 〃	型枠面積	長さ	m	〃 2 〃	面積	m ²	〃 1 〃	足場・支保	体積	m ³	〃 1 〃	幅	m	小数位以下2位止め	高さ	m	〃 2 〃	長さ	m	〃 2 〃	舗装面積	面積	m ²	〃 1 〃	距離	m	〃 1 〃	幅	m	小数位以下2位止め	区画線	延長	m	〃 1 〃	幅	m	小数位以下2位止め	鋼材（鉄筋含む）重量	質量	kg	整数位止め	長さ	m	〃 3 〃	高さ	m	〃 3 〃	塗装面積	幅	m	小数位以下3位止め	長さ	m	〃 3 〃	面積	m ²	〃 1 〃	高さ	m	〃 3 〃	<p>4-1-2 数量計算及び単価表、代価表の数値</p> <p>(2) 数量計算の過程における数値及び代価表等における数値は表4-2数量計算過程の数値に示すとおりとし、表示数値下一位を四捨五入とする。</p> <p>表4-2 数量計算過程の数値</p> <table border="1" data-bbox="1632 422 2617 1854"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種別</th> <th>単位</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">土工</td> <td>距離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止め</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>断面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>平均断面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">法面積</td> <td>土量</td> <td>m³</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止め</td> </tr> <tr> <td>法長</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>平均法長</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリートブロック積（張）面積</td> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>小数位以下1位止め</td> </tr> <tr> <td>法長</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート体積</td> <td>平均法長</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">型枠面積</td> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">足場・支保</td> <td>体積</td> <td>m³</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 2 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">舗装面積</td> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>距離</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区画線</td> <td>延長</td> <td>m</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下2位止め</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼材（鉄筋含む）重量</td> <td>質量</td> <td>kg</td> <td>整数位止め</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塗装面積</td> <td>幅</td> <td>m</td> <td>小数位以下3位止め</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>m²</td> <td>〃 1 〃</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>m</td> <td>〃 3 〃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種別	単位	数値	土工	距離	m	小数位以下1位止め	高さ	m	〃 1 〃	幅	m	〃 1 〃	断面積	m ²	〃 1 〃	平均断面積	m ²	〃 1 〃	法面積	土量	m ³	〃 1 〃	距離	m	小数位以下1位止め	法長	m	〃 1 〃	平均法長	m	〃 2 〃	コンクリートブロック積（張）面積	面積	m ²	〃 1 〃	距離	m	小数位以下1位止め	法長	m	〃 1 〃	コンクリート体積	平均法長	m	〃 2 〃	幅	m	小数位以下2位止め	高さ	m	〃 2 〃	型枠面積	長さ	m	〃 2 〃	面積	m ²	〃 1 〃	足場・支保	体積	m ³	〃 1 〃	幅	m	小数位以下2位止め	高さ	m	〃 2 〃	長さ	m	〃 2 〃	舗装面積	面積	m ²	〃 1 〃	距離	m	〃 1 〃	幅	m	小数位以下2位止め	区画線	延長	m	〃 1 〃	幅	m	小数位以下2位止め	鋼材（鉄筋含む）重量	質量	kg	整数位止め	長さ	m	〃 3 〃	高さ	m	〃 3 〃	塗装面積	幅	m	小数位以下3位止め	長さ	m	〃 3 〃	面積	m ²	〃 1 〃	高さ	m	〃 3 〃
	名称	種別	単位	数値																																																																																																																																																																																																																																
土工	距離	m	小数位以下1位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	断面積	m ²	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	平均断面積	m ²	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
法面積	土量	m ³	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	距離	m	小数位以下1位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	法長	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	平均法長	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリートブロック積（張）面積	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	距離	m	小数位以下1位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	法長	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリート体積	平均法長	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
型枠面積	長さ	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	足場・支保	体積	m ³	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																
幅		m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
高さ		m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
長さ		m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
舗装面積	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	距離	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
区画線	延長	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
鋼材（鉄筋含む）重量	質量	kg	整数位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	長さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
塗装面積	幅	m	小数位以下3位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	長さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
名称	種別	単位	数値																																																																																																																																																																																																																																	
土工	距離	m	小数位以下1位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	断面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	平均断面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
法面積	土量	m ³	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	距離	m	小数位以下1位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	法長	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	平均法長	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリートブロック積（張）面積	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	距離	m	小数位以下1位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	法長	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリート体積	平均法長	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
型枠面積	長さ	m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	足場・支保	体積	m ³	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																
幅		m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
高さ		m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
長さ		m	〃 2 〃																																																																																																																																																																																																																																	
舗装面積	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	距離	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
区画線	延長	m	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	幅	m	小数位以下2位止め																																																																																																																																																																																																																																	
鋼材（鉄筋含む）重量	質量	kg	整数位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	長さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
塗装面積	幅	m	小数位以下3位止め																																																																																																																																																																																																																																	
	長さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	面積	m ²	〃 1 〃																																																																																																																																																																																																																																	
	高さ	m	〃 3 〃																																																																																																																																																																																																																																	

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）
<p>語句訂正</p>	<p>5-2 随意契約の積算 5-2-1 一般事項 (1) 他官庁発注工事と調整積算が必要となる随意契約は行わないものとする。 (2) 積算体系が異なる異種の工事は調整しない。(仮設物が共用できる場合は、その部分についてのみ調整する。) (3) 随意契約方式により工事を発注する場合の調整については、土木工事標準積算基準書（神奈川県県土整備局）に準ずるものとする。</p> <p>5-2-2 共通仮設費の調整計算について (1)～(8) 略</p> <p>(9) 現場環境改善費 ア 率計算による現場環境改善費 原則として調整しない。ただし、工期、工事区間がほとんど重複し、これによることが明らかに不適当と判断される場合は調整する。 イ 積上げによる現場環境改善費 実態に合わせ調整する。</p>	<p>5-2 随意契約の積算 5-2-1 一般事項 (1) 他官庁発注工事と調整積算が必要となる随意契約は行わないものとする。 (2) 積算体系が異なる異種の工事は調整しない。(仮設物が共用できる場合は、その部分についてのみ調整する。) (3) 随意契約方式により工事を発注する場合の調整については、土木工事標準積算基準書（神奈川県県土整備局）に準ずるものとする。</p> <p>5-2-2 共通仮設費の調整計算について (1)～(8) 略</p> <p>(9) <u>イメージアップ経費</u> ア 率計算による<u>イメージアップ経費</u> 原則として調整しない。ただし、工期、工事区間がほとんど重複し、これによることが明らかに不適当と判断される場合は調整する。 イ 積上げによる<u>イメージアップ経費</u> 実態に合わせ調整する。</p>

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																																																																																		
P-Link, G-Link を用いた呼び径400mmの歩掛削除 注釈訂正 番号繰下げ	第II章 標準歩掛 第I節 管路工(開削) 1-2-4-4 GX形铸铁管接合工 略 表2-16 GX形铸铁管接合工 10口当たり <table border="1" data-bbox="379 537 1498 848"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">配管工(人)</th> <th colspan="2">普通作業員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費</th> </tr> <tr> <th>直管</th> <th>異形管</th> <th>直管</th> <th>異形管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> <td rowspan="6">労務費の 1%</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.60(0.96)</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.60(0.96)</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>0.60(0.78)</td> <td>0.70(1.12)</td> <td>0.60(0.78)</td> <td>0.70(1.12)</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.90(1.17)</td> <td>0.90(1.44)</td> <td>0.90(1.17)</td> <td>0.90(1.44)</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 呼び径75mm～300mmのP-Linkの切管部への接合は直管の歩掛の30%増しとする。 P-Linkの接合は直管の()内数値とする。 注2. 呼び径75mm～300mmのP-Linkを用いた直管の接合(1口)は「直管の接合」(1口)と「P-Linkの切管部への接合」(1口)を計上する。 注3. 呼び径75mm～300mmのG-Linkを用いた異形管の接合は、異形管歩掛の60%増しとする。G-Linkの接合は異形管の()内数値とする。 注4. 撤去工については、以下のとおり本歩掛を補正する。 注5. 本表はライナを含む継手の接合にも適用する。</p>	呼び径 (mm)	配管工(人)		普通作業員(人)		諸雑費	直管	異形管	直管	異形管	75	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)	労務費の 1%	100	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)	150	0.50(0.65)	0.60(0.96)	0.50(0.65)	0.60(0.96)	200	0.60(0.78)	0.70(1.12)	0.60(0.78)	0.70(1.12)	300	0.90(1.17)	0.90(1.44)	0.90(1.17)	0.90(1.44)	400	1.00	1.20	1.00	1.20	第II章 標準歩掛 第I節 管路工(開削) 1-2-4-4 GX形铸铁管接合工 略 表2-16 GX形铸铁管接合工 10口当たり <table border="1" data-bbox="1638 537 2757 848"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">配管工(人)</th> <th colspan="2">普通作業員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費</th> </tr> <tr> <th>直管</th> <th>異形管</th> <th>直管</th> <th>異形管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> <td rowspan="6">労務費の 1%</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.50(0.80)</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.60(0.96)</td> <td>0.50(0.65)</td> <td>0.60(0.96)</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>0.60(0.78)</td> <td>0.70(1.12)</td> <td>0.60(0.78)</td> <td>0.70(1.12)</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.90(1.17)</td> <td>0.90(1.44)</td> <td>0.90(1.17)</td> <td>0.90(1.44)</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>1.00(1.30)</td> <td>1.20(1.92)</td> <td>1.00(1.30)</td> <td>1.20(1.92)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. P-Linkの接合は直管の()内の数値とする。 注2. G-Linkの接合は異形管の()内の数値とする。 注3. 撤去工については、以下のとおり本歩掛を補正する。 注4. 本表はライナを含む継手の接合にも適用する。</p>	呼び径 (mm)	配管工(人)		普通作業員(人)		諸雑費	直管	異形管	直管	異形管	75	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)	労務費の 1%	100	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)	150	0.50(0.65)	0.60(0.96)	0.50(0.65)	0.60(0.96)	200	0.60(0.78)	0.70(1.12)	0.60(0.78)	0.70(1.12)	300	0.90(1.17)	0.90(1.44)	0.90(1.17)	0.90(1.44)	400	1.00(1.30)	1.20(1.92)	1.00(1.30)	1.20(1.92)
呼び径 (mm)	配管工(人)		普通作業員(人)		諸雑費																																																																															
	直管	異形管	直管	異形管																																																																																
75	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)	労務費の 1%																																																																															
100	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)																																																																																
150	0.50(0.65)	0.60(0.96)	0.50(0.65)	0.60(0.96)																																																																																
200	0.60(0.78)	0.70(1.12)	0.60(0.78)	0.70(1.12)																																																																																
300	0.90(1.17)	0.90(1.44)	0.90(1.17)	0.90(1.44)																																																																																
400	1.00	1.20	1.00	1.20																																																																																
呼び径 (mm)	配管工(人)		普通作業員(人)		諸雑費																																																																															
	直管	異形管	直管	異形管																																																																																
75	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)	労務費の 1%																																																																															
100	0.50(0.65)	0.50(0.80)	0.50(0.65)	0.50(0.80)																																																																																
150	0.50(0.65)	0.60(0.96)	0.50(0.65)	0.60(0.96)																																																																																
200	0.60(0.78)	0.70(1.12)	0.60(0.78)	0.70(1.12)																																																																																
300	0.90(1.17)	0.90(1.44)	0.90(1.17)	0.90(1.44)																																																																																
400	1.00(1.30)	1.20(1.92)	1.00(1.30)	1.20(1.92)																																																																																

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																																																												
交通誘導警備員のコード追加	<p>3-2 交通誘導警備員等</p> <p>3-2-1 適用範囲 交通誘導警備員による交通管理を行う場合に適用する。</p> <p>3-2-2 計上区分 現場条件に応じて、交通誘導警備員の配置人員、作業時間帯、期間を計上する。</p> <p>交通誘導警備員A DD121602000 交通誘導警備員B DD121602010</p> <p>表3-2-1-1 交通誘導警備員の計上区分</p> <table border="1" data-bbox="409 682 1507 1134"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">現場条件</th> <th colspan="2">計 算 式</th> </tr> <tr> <th>交通誘導警備員A</th> <th>交通誘導警備員B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)</td> <td>$a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)</td> <td>$1.2a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.2a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>夜間勤務(20:00~5:00) 実働 8時間(交替要員無し)</td> <td>$1.5a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.5a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9時間(交替要員有り)</td> <td>$1.8a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.8a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>24時間勤務 実働 22時間(交替要員無し)</td> <td>$3.0a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$3.0a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>24時間勤務 実働 24時間(交替要員有り)</td> <td>$3.4a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$3.4a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. a: 交通誘導警備員単価 N: 配置人員 注2. 日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。 注3. 区分5、6は2交替制勤務とする。 注4. 交替要員有りは、休憩、休息时间についても交通誘導を行う場合に適用する。 注5. 作業時間帯等が異なる場合は、別途積算するものとする。</p>	区分	現場条件	計 算 式		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B	1	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$a \times \text{必要日数} \times N$	$a \times \text{必要日数} \times N$	2	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$	3	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$	4	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$	5	24時間勤務 実働 22時間(交替要員無し)	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$	6	24時間勤務 実働 24時間(交替要員有り)	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$	<p>3-2 交通誘導警備員等</p> <p>3-2-1 適用範囲 交通誘導警備員による交通管理を行う場合に適用する。</p> <p>3-2-2 計上区分 現場条件に応じて、交通誘導警備員の配置人員、作業時間帯、期間を計上する。</p> <p>表3-2-1-1 交通誘導警備員の計上区分</p> <table border="1" data-bbox="1668 682 2766 1134"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">現場条件</th> <th colspan="2">計 算 式</th> </tr> <tr> <th>交通誘導警備員A</th> <th>交通誘導警備員B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)</td> <td>$a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)</td> <td>$1.2a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.2a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>夜間勤務(20:00~5:00) 実働 8時間(交替要員無し)</td> <td>$1.5a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.5a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9時間(交替要員有り)</td> <td>$1.8a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.8a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>24時間勤務 実働 22時間(交替要員無し)</td> <td>$3.0a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$3.0a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>24時間勤務 実働 24時間(交替要員有り)</td> <td>$3.4a \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$3.4a \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. a: 交通誘導警備員単価 N: 配置人員 注2. 日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。 注3. 区分5、6は2交替制勤務とする。 注4. 交替要員有りは、休憩、休息时间についても交通誘導を行う場合に適用する。 注5. 作業時間帯等が異なる場合は、別途積算するものとする。</p>	区分	現場条件	計 算 式		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B	1	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$a \times \text{必要日数} \times N$	$a \times \text{必要日数} \times N$	2	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$	3	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$	4	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$	5	24時間勤務 実働 22時間(交替要員無し)	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$	6	24時間勤務 実働 24時間(交替要員有り)	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$
区分	現場条件			計 算 式																																																										
		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B																																																											
1	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$a \times \text{必要日数} \times N$	$a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
2	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
3	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
4	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
5	24時間勤務 実働 22時間(交替要員無し)	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
6	24時間勤務 実働 24時間(交替要員有り)	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
区分	現場条件	計 算 式																																																												
		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B																																																											
1	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$a \times \text{必要日数} \times N$	$a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
2	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$	$1.2a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
3	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 8時間(交替要員無し)	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$	$1.5a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
4	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9時間(交替要員有り)	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$	$1.8a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
5	24時間勤務 実働 22時間(交替要員無し)	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$	$3.0a \times \text{必要日数} \times N$																																																											
6	24時間勤務 実働 24時間(交替要員有り)	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$	$3.4a \times \text{必要日数} \times N$																																																											

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																																																																						
補正対象項目の明記	<p>第3章 委託歩掛関係</p> <p>第2節 設計業務歩掛</p> <p>2-1 開削工法</p> <p>2-1-1 基本歩掛 小口径（管径350mm以下） 略</p> <p>2-1-2 大口径（管径 400 mm以上） 略</p> <p>2-1-3 補正 開削工法基本歩掛の補正は、次の(1)～(6)の補正係数を乗じて行う。 なお、補正対象は、作業内容の内、設計協議を除いた全項目とする。</p> <p>(1) 管径による補正</p> <p>① 小口径 ア 詳細設計（新設、布設替） 表-5</p> <table border="1" data-bbox="418 852 1427 1037"> <thead> <tr> <th colspan="2">管径 (mm)</th> <th>350</th> <th>300</th> <th>250</th> <th>200</th> <th>150</th> <th>100以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補正係数</td> <td>床付深さ一定 (2.0m未満)</td> <td>1.00</td> <td>0.96</td> <td>0.93</td> <td>0.92</td> <td>0.91</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>床付深さ変化 (2.0m以上)</td> <td>1.31</td> <td>1.26</td> <td>1.22</td> <td>1.20</td> <td>1.19</td> <td>1.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 床付深さが2.0m未満で床付深さが一定でない場合は、本表の範囲内で別途補正することができる。</p> <p>注2 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 設計計画、ウ. 各種計算、エ. 図面作成、オ. 数量計算、カ. 審査</p> <p>② 大口径 表-6</p> <table border="1" data-bbox="412 1264 1445 1404"> <thead> <tr> <th>管径 (mm)</th> <th>400～700</th> <th>800</th> <th>900</th> <th>1000</th> <th>1100</th> <th>1200</th> <th>1350</th> <th>1500</th> <th>1600以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.90</td> <td>0.91</td> <td>0.92</td> <td>0.93</td> <td>0.96</td> <td>1.00</td> <td>1.06</td> <td>1.09</td> <td>1.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 設計計画、ウ. 各種計算、エ. 図面作成、オ. 数量計算、カ. 審査</p>	管径 (mm)		350	300	250	200	150	100以下	補正係数	床付深さ一定 (2.0m未満)	1.00	0.96	0.93	0.92	0.91	0.90	床付深さ変化 (2.0m以上)	1.31	1.26	1.22	1.20	1.19	1.18	管径 (mm)	400～700	800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1600以上	補正係数	0.90	0.91	0.92	0.93	0.96	1.00	1.06	1.09	1.10	<p>第3章 委託歩掛関係</p> <p>第2節 設計業務歩掛</p> <p>2-1 開削工法</p> <p>2-1-1 基本歩掛 小口径（管径350mm以下） 略</p> <p>2-1-2 大口径（管径 400 mm以上） 略</p> <p>2-1-3 補正 開削工法基本歩掛の補正は、次の(1)～(6)の補正係数を乗じて行う。 なお、補正対象は、作業内容の内、設計協議を除いた全項目とする。</p> <p>(1) 管径による補正</p> <p>① 小口径 ア 詳細設計（新設、布設替） 表-5</p> <table border="1" data-bbox="1673 852 2683 1037"> <thead> <tr> <th colspan="2">管径 (mm)</th> <th>350</th> <th>300</th> <th>250</th> <th>200</th> <th>150</th> <th>100以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補正係数</td> <td>床付深さ一定 (2.0m未満)</td> <td>1.00</td> <td>0.96</td> <td>0.93</td> <td>0.92</td> <td>0.91</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>床付深さ変化 (2.0m以上)</td> <td>1.31</td> <td>1.26</td> <td>1.22</td> <td>1.20</td> <td>1.19</td> <td>1.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 床付深さが2.0m未満で床付深さが一定でない場合は、本表の範囲内で別途補正することができる。</p> <p>② 大口径 表-6</p> <table border="1" data-bbox="1668 1260 2700 1400"> <thead> <tr> <th>管径 (mm)</th> <th>400～700</th> <th>800</th> <th>900</th> <th>1000</th> <th>1100</th> <th>1200</th> <th>1350</th> <th>1500</th> <th>1600以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.90</td> <td>0.91</td> <td>0.92</td> <td>0.93</td> <td>0.96</td> <td>1.00</td> <td>1.06</td> <td>1.09</td> <td>1.10</td> </tr> </tbody> </table>	管径 (mm)		350	300	250	200	150	100以下	補正係数	床付深さ一定 (2.0m未満)	1.00	0.96	0.93	0.92	0.91	0.90	床付深さ変化 (2.0m以上)	1.31	1.26	1.22	1.20	1.19	1.18	管径 (mm)	400～700	800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1600以上	補正係数	0.90	0.91	0.92	0.93	0.96	1.00	1.06	1.09	1.10
管径 (mm)		350	300	250	200	150	100以下																																																																																	
補正係数	床付深さ一定 (2.0m未満)	1.00	0.96	0.93	0.92	0.91	0.90																																																																																	
	床付深さ変化 (2.0m以上)	1.31	1.26	1.22	1.20	1.19	1.18																																																																																	
管径 (mm)	400～700	800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1600以上																																																																															
補正係数	0.90	0.91	0.92	0.93	0.96	1.00	1.06	1.09	1.10																																																																															
管径 (mm)		350	300	250	200	150	100以下																																																																																	
補正係数	床付深さ一定 (2.0m未満)	1.00	0.96	0.93	0.92	0.91	0.90																																																																																	
	床付深さ変化 (2.0m以上)	1.31	1.26	1.22	1.20	1.19	1.18																																																																																	
管径 (mm)	400～700	800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1600以上																																																																															
補正係数	0.90	0.91	0.92	0.93	0.96	1.00	1.06	1.09	1.10																																																																															

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																																																																																																																																
補正対象項目の明記	<p>(2) 延長による補正（小口径、大口径）</p> <p>管路延長による補正は、1km当り標準歩掛に表－7に示す管路延長による補正係数を乗じて行う。</p> <p>表－7</p> <table border="1" data-bbox="409 478 1294 1115"> <thead> <tr> <th>管路延長 (m)</th> <th>補正係数</th> <th>管路延長 (m)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>300未満</td><td>0.60</td><td>3,400～3,800未満</td><td>2.18</td></tr> <tr><td>300～500 "</td><td>0.70</td><td>3,800～4,300 "</td><td>2.34</td></tr> <tr><td>500～700 "</td><td>0.80</td><td>4,300～4,900 "</td><td>2.54</td></tr> <tr><td>700～900 "</td><td>0.90</td><td>4,900～5,500 "</td><td>2.75</td></tr> <tr><td>900～1,100 "</td><td>1.00</td><td>5,500～6,500 "</td><td>2.97</td></tr> <tr><td>1,100～1,200 "</td><td>1.08</td><td>6,500～7,500 "</td><td>3.21</td></tr> <tr><td>1,200～1,400 "</td><td>1.17</td><td>7,500～8,500 "</td><td>3.46</td></tr> <tr><td>1,400～1,600 "</td><td>1.26</td><td>8,500～9,500 "</td><td>3.74</td></tr> <tr><td>1,600～1,800 "</td><td>1.36</td><td>9,500～11,000 "</td><td>4.04</td></tr> <tr><td>1,800～2,000 "</td><td>1.48</td><td>11,000～12,500 "</td><td>4.40</td></tr> <tr><td>2,000～2,300 "</td><td>1.60</td><td>12,500～14,000 "</td><td>4.70</td></tr> <tr><td>2,300～2,600 "</td><td>1.73</td><td>14,000～16,000 "</td><td>4.95</td></tr> <tr><td>2,600～3,000 "</td><td>1.87</td><td>16,000～18,000 "</td><td>5.25</td></tr> <tr><td>3,000～3,400 "</td><td>2.02</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 設計計画、ウ. 各種計算、エ. 図面作成、オ. 数量計算、カ. 審査</p> <p>注2. 対象延長に応じて1km当り標準歩掛の補正を行い、設計人工とすること。（対象延長は1km当り標準歩掛に乘じない。）</p> <p>注3. 設計業務委託の内容が複数の工事案件になる場合は、合計の管路延長に応じて補正すること。</p> <p>注4. 管路延長が18,000m以上の場合は、別途考慮する。 （計算例） K1：管路延長2,500mの場合の設計人工 K2：1km当り標準歩掛による人工 K1=K2×1.73</p> <p>(3) 設計条件による補正（小口径、大口径）</p> <p>ア 難易の指数 略</p> <p>イ 指数の計と補正係数</p> <p>表－8により設計条件1～4に対応する指数の計の範囲で表－9－1に示す補正係数を選択する。</p> <p>表－9－1</p> <table border="1" data-bbox="427 1719 1484 1812"> <thead> <tr> <th>指数の計</th> <th>3-6</th> <th>7-10</th> <th>11-13</th> <th>14-17</th> <th>18-22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.70</td> <td>0.85</td> <td>1.00</td> <td>1.15</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 設計計画、ウ. 各種計算、エ. 図面作成、オ. 数量計算、カ. 審査</p>	管路延長 (m)	補正係数	管路延長 (m)	補正係数	300未満	0.60	3,400～3,800未満	2.18	300～500 "	0.70	3,800～4,300 "	2.34	500～700 "	0.80	4,300～4,900 "	2.54	700～900 "	0.90	4,900～5,500 "	2.75	900～1,100 "	1.00	5,500～6,500 "	2.97	1,100～1,200 "	1.08	6,500～7,500 "	3.21	1,200～1,400 "	1.17	7,500～8,500 "	3.46	1,400～1,600 "	1.26	8,500～9,500 "	3.74	1,600～1,800 "	1.36	9,500～11,000 "	4.04	1,800～2,000 "	1.48	11,000～12,500 "	4.40	2,000～2,300 "	1.60	12,500～14,000 "	4.70	2,300～2,600 "	1.73	14,000～16,000 "	4.95	2,600～3,000 "	1.87	16,000～18,000 "	5.25	3,000～3,400 "	2.02			指数の計	3-6	7-10	11-13	14-17	18-22	補正係数	0.70	0.85	1.00	1.15	1.30	<p>(2) 延長による補正（小口径、大口径）</p> <p>管路延長による補正は、1km当り標準歩掛に表－7に示す管路延長による補正係数を乗じて行う。</p> <p>表－7</p> <table border="1" data-bbox="1668 478 2552 1115"> <thead> <tr> <th>管路延長 (m)</th> <th>補正係数</th> <th>管路延長 (m)</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>300未満</td><td>0.60</td><td>3,400～3,800未満</td><td>2.18</td></tr> <tr><td>300～500 "</td><td>0.70</td><td>3,800～4,300 "</td><td>2.34</td></tr> <tr><td>500～700 "</td><td>0.80</td><td>4,300～4,900 "</td><td>2.54</td></tr> <tr><td>700～900 "</td><td>0.90</td><td>4,900～5,500 "</td><td>2.75</td></tr> <tr><td>900～1,100 "</td><td>1.00</td><td>5,500～6,500 "</td><td>2.97</td></tr> <tr><td>1,100～1,200 "</td><td>1.08</td><td>6,500～7,500 "</td><td>3.21</td></tr> <tr><td>1,200～1,400 "</td><td>1.17</td><td>7,500～8,500 "</td><td>3.46</td></tr> <tr><td>1,400～1,600 "</td><td>1.26</td><td>8,500～9,500 "</td><td>3.74</td></tr> <tr><td>1,600～1,800 "</td><td>1.36</td><td>9,500～11,000 "</td><td>4.04</td></tr> <tr><td>1,800～2,000 "</td><td>1.48</td><td>11,000～12,500 "</td><td>4.40</td></tr> <tr><td>2,000～2,300 "</td><td>1.60</td><td>12,500～14,000 "</td><td>4.70</td></tr> <tr><td>2,300～2,600 "</td><td>1.73</td><td>14,000～16,000 "</td><td>4.95</td></tr> <tr><td>2,600～3,000 "</td><td>1.87</td><td>16,000～18,000 "</td><td>5.25</td></tr> <tr><td>3,000～3,400 "</td><td>2.02</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象は作業内容の全項目とする。（ただし、設計協議を除く。）</p> <p>注2. 対象延長に応じて1km当り標準歩掛の補正を行い、設計人工とすること。（対象延長は1km当り標準歩掛に乘じない。）</p> <p>注3. 設計業務委託の内容が複数の工事案件になる場合は、合計の管路延長に応じて補正すること。</p> <p>注4. 管路延長が18,000m以上の場合は、別途考慮する。 （計算例） K1：管路延長2,500mの場合の設計人工 K2：1km当り標準歩掛による人工 K1=K2×1.73</p> <p>(3) 設計条件による補正（小口径、大口径）</p> <p>ア 難易の指数 略</p> <p>イ 指数の計と補正係数</p> <p>表－8により設計条件1～4に対応する指数の計の範囲で表－9－1に示す補正係数を選択する。</p> <p>表－9－1</p> <table border="1" data-bbox="1685 1728 2742 1820"> <thead> <tr> <th>指数の計</th> <th>3-6</th> <th>7-10</th> <th>11-13</th> <th>14-17</th> <th>18-22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.70</td> <td>0.85</td> <td>1.00</td> <td>1.15</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象は作業内容の全項目とする。（ただし、設計協議を除く。）</p>	管路延長 (m)	補正係数	管路延長 (m)	補正係数	300未満	0.60	3,400～3,800未満	2.18	300～500 "	0.70	3,800～4,300 "	2.34	500～700 "	0.80	4,300～4,900 "	2.54	700～900 "	0.90	4,900～5,500 "	2.75	900～1,100 "	1.00	5,500～6,500 "	2.97	1,100～1,200 "	1.08	6,500～7,500 "	3.21	1,200～1,400 "	1.17	7,500～8,500 "	3.46	1,400～1,600 "	1.26	8,500～9,500 "	3.74	1,600～1,800 "	1.36	9,500～11,000 "	4.04	1,800～2,000 "	1.48	11,000～12,500 "	4.40	2,000～2,300 "	1.60	12,500～14,000 "	4.70	2,300～2,600 "	1.73	14,000～16,000 "	4.95	2,600～3,000 "	1.87	16,000～18,000 "	5.25	3,000～3,400 "	2.02			指数の計	3-6	7-10	11-13	14-17	18-22	補正係数	0.70	0.85	1.00	1.15	1.30
	管路延長 (m)	補正係数	管路延長 (m)	補正係数																																																																																																																																														
300未満	0.60	3,400～3,800未満	2.18																																																																																																																																															
300～500 "	0.70	3,800～4,300 "	2.34																																																																																																																																															
500～700 "	0.80	4,300～4,900 "	2.54																																																																																																																																															
700～900 "	0.90	4,900～5,500 "	2.75																																																																																																																																															
900～1,100 "	1.00	5,500～6,500 "	2.97																																																																																																																																															
1,100～1,200 "	1.08	6,500～7,500 "	3.21																																																																																																																																															
1,200～1,400 "	1.17	7,500～8,500 "	3.46																																																																																																																																															
1,400～1,600 "	1.26	8,500～9,500 "	3.74																																																																																																																																															
1,600～1,800 "	1.36	9,500～11,000 "	4.04																																																																																																																																															
1,800～2,000 "	1.48	11,000～12,500 "	4.40																																																																																																																																															
2,000～2,300 "	1.60	12,500～14,000 "	4.70																																																																																																																																															
2,300～2,600 "	1.73	14,000～16,000 "	4.95																																																																																																																																															
2,600～3,000 "	1.87	16,000～18,000 "	5.25																																																																																																																																															
3,000～3,400 "	2.02																																																																																																																																																	
指数の計	3-6	7-10	11-13	14-17	18-22																																																																																																																																													
補正係数	0.70	0.85	1.00	1.15	1.30																																																																																																																																													
管路延長 (m)	補正係数	管路延長 (m)	補正係数																																																																																																																																															
300未満	0.60	3,400～3,800未満	2.18																																																																																																																																															
300～500 "	0.70	3,800～4,300 "	2.34																																																																																																																																															
500～700 "	0.80	4,300～4,900 "	2.54																																																																																																																																															
700～900 "	0.90	4,900～5,500 "	2.75																																																																																																																																															
900～1,100 "	1.00	5,500～6,500 "	2.97																																																																																																																																															
1,100～1,200 "	1.08	6,500～7,500 "	3.21																																																																																																																																															
1,200～1,400 "	1.17	7,500～8,500 "	3.46																																																																																																																																															
1,400～1,600 "	1.26	8,500～9,500 "	3.74																																																																																																																																															
1,600～1,800 "	1.36	9,500～11,000 "	4.04																																																																																																																																															
1,800～2,000 "	1.48	11,000～12,500 "	4.40																																																																																																																																															
2,000～2,300 "	1.60	12,500～14,000 "	4.70																																																																																																																																															
2,300～2,600 "	1.73	14,000～16,000 "	4.95																																																																																																																																															
2,600～3,000 "	1.87	16,000～18,000 "	5.25																																																																																																																																															
3,000～3,400 "	2.02																																																																																																																																																	
指数の計	3-6	7-10	11-13	14-17	18-22																																																																																																																																													
補正係数	0.70	0.85	1.00	1.15	1.30																																																																																																																																													

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																																																
<p>語句訂正</p>	<p>(4) 工事案件数による補正（小口径、大口径） 略</p> <p>(5) 仮設配管による補正（小口径、大口径） 布設替詳細設計に仮設配管（埋設又は露出）を計上する場合は、次式により歩掛を補正する。 ただし、本歩掛では、仮設配管の口径は、350mmを上限とする。 なお、補正対象は作業内容の全項目とする。（ただし、設計協議を除く）</p> $\text{補正係数} = 1 + \alpha \left(\frac{l}{L} \right)$ <p>L：布設替路線全延長（m） l：仮設配管を必要とする布設替路線延長（m）（$0 \leq l$） α：管径補正係数（表－9－2参照）</p> <p>表－9－2</p> <table border="1" data-bbox="430 785 1484 966"> <tr> <td>管径（mm）</td> <td>700以下</td> <td>800</td> <td>900</td> <td>1000</td> <td>1100</td> </tr> <tr> <td>α</td> <td>0.50</td> <td>0.49</td> <td>0.49</td> <td>0.48</td> <td>0.47</td> </tr> <tr> <td>管径（mm）</td> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1500</td> <td>1600以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>α</td> <td>0.45</td> <td>0.42</td> <td>0.41</td> <td>0.41</td> <td></td> </tr> </table> <p>(6) 土工事を伴わない場合 共同構内等で土工事を伴わない工事の委託設計歩掛は、基本歩掛の80%とする。 なお、補正対象の作業内容は次の項目とする。（ただし、設計協議は除く） ア. 現地調査、イ. 設計計画、ウ. 各種計算、エ. 図面作成、オ. 数量計算、カ. 審査</p> <p>(7) 複数管径を含む場合等の補正の考え方 次の考え方により基本歩掛を補正する。 なお、補正対象の作業内容は次の項目とする。（ただし、設計協議は除く） ア. 現地調査、イ. 設計計画、ウ. 各種計算、エ. 図面作成、オ. 数量計算、カ. 審査</p> <p>①適用する基本歩掛が同一で複数管径を含む場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 管径補正係数については、それぞれの管径における補正係数を設計延長で加重平均した値とする。 延長補正係数については、複数管径の合計設計延長に対する値とする。 仮設配管による補正については、それぞれの呼び径における補正係数を設計延長で加重平均した値とする。 <p>②適用する基本歩掛が異なる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する基本歩掛ごとに①の考え方により補正を行い、合算する。 	管径（mm）	700以下	800	900	1000	1100	α	0.50	0.49	0.49	0.48	0.47	管径（mm）	1200	1350	1500	1600以上		α	0.45	0.42	0.41	0.41		<p>(4) 工事案件数による補正（小口径、大口径） 略</p> <p>(5) 仮設配管による補正（小口径、大口径） 布設替詳細設計に仮設配管（埋設又は露出）を計上する場合は、次式により歩掛を補正する。 ただし、本歩掛では、仮設配管の口径は、350mmを上限とする。 なお、補正対象は作業内容の全項目とする。（ただし、設計協議を除く）</p> $\text{補正係数} = 1 + \alpha \left(\frac{l}{L} \right)$ <p>L：布設替路線全延長（m） l：仮設配管を必要とする委託路線延長（m） α：管径補正係数（表－9－2参照）</p> <p>表－9－2</p> <table border="1" data-bbox="1688 785 2742 966"> <tr> <td>管径（mm）</td> <td>700以下</td> <td>800</td> <td>900</td> <td>1000</td> <td>1100</td> </tr> <tr> <td>α</td> <td>0.50</td> <td>0.49</td> <td>0.49</td> <td>0.48</td> <td>0.47</td> </tr> <tr> <td>管径（mm）</td> <td>1200</td> <td>1350</td> <td>1500</td> <td>1600以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>α</td> <td>0.45</td> <td>0.42</td> <td>0.41</td> <td>0.41</td> <td></td> </tr> </table> <p>(6) 土工事を伴わない場合 共同構内等で土工事を伴わない工事の委託設計歩掛は、基本歩掛の80%とする。 なお、補正対象は作業内容の全項目とする。（ただし、設計協議は除く） この場合、2－1－3に準じて管径、延長及び工事案件数による補正を行う。</p> <p>(7) 複数管径を含む場合等の補正の考え方 次の考え方により基本歩掛を補正する。 なお、補正対象は作業内容の全項目とする。（ただし、設計協議は除く）</p> <p>①適用する基本歩掛が同一で複数管径を含む場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 管径補正係数については、それぞれの管径における補正係数を設計延長で加重平均した値とする。 延長補正係数については、複数管径の合計設計延長に対する値とする。 仮設配管による補正については、それぞれの呼び径における補正係数を設計延長で加重平均した値とする。 <p>②適用する基本歩掛が異なる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する基本歩掛ごとに①の考え方により補正を行い、合算する。 	管径（mm）	700以下	800	900	1000	1100	α	0.50	0.49	0.49	0.48	0.47	管径（mm）	1200	1350	1500	1600以上		α	0.45	0.42	0.41	0.41	
管径（mm）	700以下	800	900	1000	1100																																													
α	0.50	0.49	0.49	0.48	0.47																																													
管径（mm）	1200	1350	1500	1600以上																																														
α	0.45	0.42	0.41	0.41																																														
管径（mm）	700以下	800	900	1000	1100																																													
α	0.50	0.49	0.49	0.48	0.47																																													
管径（mm）	1200	1350	1500	1600以上																																														
α	0.45	0.42	0.41	0.41																																														

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成 30 年 7 月）	現行（平成 30 年 4 月）																																																																												
<p>ただし書き削除</p> <p>作業内容の訂正</p> <p>注釈の訂正</p>	<p>2-2 推進工法</p> <p>2-2-1 標準業務内容 略</p> <p>2-2-2 基本歩掛 略</p> <p>2-2-3 補正 補正は、(1)～(4)それぞれの補正係数を乗じて行う。 ただし、延長による補正は、2-2-2-1 刃口推進には適用しない。</p> <p>(1) 設計条件による補正 設計条件による補正は開削工法設計条件による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計</p> <p>(2) 工事案件数による補正 工事案件数による補正は開削工法工事案件数による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計、ケ. 報告書作成</p> <p>(3) 立坑数による補正 立坑を1箇所増すごとに次の補正を行う。 表-15</p> <table border="1" data-bbox="409 976 1368 1066"> <tr> <td>立坑数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> <td>1.30</td> <td>1.40</td> </tr> </table> <p>注1. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計</p> <p>(4) 延長による補正 延長による補正は表-11及び表-12に表-16に示す管路延長による補正係数を乗じて行う。 表-16</p> <table border="1" data-bbox="409 1266 1498 1482"> <tr> <td rowspan="2">管路延長 (m)</td> <td>250m未満</td> <td>250～ 500未満</td> <td>500～ 750未満</td> <td>750～ 1,000未満</td> <td>1,000～ 1,250未満</td> <td>1,250～ 1,500未満</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">管路延長 (m)</td> <td>1,500～ 1,750未満</td> <td>1,750～ 2,000未満</td> <td>2,000～ 2,250未満</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>注1. 延長による補正は、2-2-1-1 刃口推進には適用しない。 注2. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計、ケ. 報告書作成 注3. 管路延長が2,250m以上の場合は、別途考慮する。</p>	立坑数	2	3	4	5	6	補正係数	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40	管路延長 (m)	250m未満	250～ 500未満	500～ 750未満	750～ 1,000未満	1,000～ 1,250未満	1,250～ 1,500未満	補正係数	0.7	0.8	1.0	1.2	1.4	管路延長 (m)	1,500～ 1,750未満	1,750～ 2,000未満	2,000～ 2,250未満				補正係数	1.8	2.0	2.2			<p>2-2 推進工法</p> <p>2-2-1 標準業務内容 略</p> <p>2-2-2 基本歩掛 略</p> <p>2-2-3 補正 補正は、(1)～(4)それぞれの補正係数を乗じて行う。 ただし、延長による補正は、2-2-2-1 刃口推進には適用しない。</p> <p>(1) 設計条件による補正 設計条件による補正は開削工法設計条件による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、報告書作成及び設計協議を除く)</u></p> <p>(2) 工事案件数による補正 工事案件数による補正は開削工法工事案件数による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、設計協議を除く)</u></p> <p>(3) 立坑数による補正 立坑を1箇所増すごとに次の補正を行う。 表-15</p> <table border="1" data-bbox="1665 955 2623 1045"> <tr> <td>立坑数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> <td>1.30</td> <td>1.40</td> </tr> </table> <p>注1. 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、報告書作成及び設計協議を除く)</u></p> <p>(4) 延長による補正 表-16</p> <table border="1" data-bbox="1665 1251 2754 1467"> <tr> <td rowspan="2">延長 (m)</td> <td>250m未満</td> <td>250～ 500未満</td> <td>500～ 750未満</td> <td>750～ 1,000未満</td> <td>1,000～ 1,250未満</td> <td>1,250～ 1,500未満</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">延長 (m)</td> <td>1,500～ 1,750未満</td> <td>1,750～ 2,000未満</td> <td>2,000～ 2,250未満</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>注1. 延長による補正は、2-2-1-1 刃口推進には適用しない。 注2. 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、設計協議を除く。)</u> 注3. 管路延長が2,250m以上の場合は、別途考慮する。</p>	立坑数	2	3	4	5	6	補正係数	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40	延長 (m)	250m未満	250～ 500未満	500～ 750未満	750～ 1,000未満	1,000～ 1,250未満	1,250～ 1,500未満	補正係数	0.7	0.8	1.0	1.2	1.4	延長 (m)	1,500～ 1,750未満	1,750～ 2,000未満	2,000～ 2,250未満				補正係数	1.8	2.0	2.2		
立坑数	2	3	4	5	6																																																																									
補正係数	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40																																																																									
管路延長 (m)	250m未満	250～ 500未満	500～ 750未満	750～ 1,000未満	1,000～ 1,250未満	1,250～ 1,500未満																																																																								
	補正係数	0.7	0.8	1.0	1.2	1.4																																																																								
管路延長 (m)	1,500～ 1,750未満	1,750～ 2,000未満	2,000～ 2,250未満																																																																											
	補正係数	1.8	2.0	2.2																																																																										
立坑数	2	3	4	5	6																																																																									
補正係数	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40																																																																									
延長 (m)	250m未満	250～ 500未満	500～ 750未満	750～ 1,000未満	1,000～ 1,250未満	1,250～ 1,500未満																																																																								
	補正係数	0.7	0.8	1.0	1.2	1.4																																																																								
延長 (m)	1,500～ 1,750未満	1,750～ 2,000未満	2,000～ 2,250未満																																																																											
	補正係数	1.8	2.0	2.2																																																																										

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）
	<p>2-3 既設管内配管工法 2-3-1 標準業務内容 略 2-3-2 既設管内配管工 略 2-3-3 配管設計 略 2-3-4 設計 補正は、(1)～(4)それぞれの補正係数を乗じてものとする。</p> <p>(1) 設計条件による補正 設計条件による補正は開削工法設計条件による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計</p> <p>(2) 工事案件数による補正 工事案件数による補正は開削工法工事案件数による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計、ケ. 報告書作成</p> <p>(3) 立坑数による補正 立坑数による補正は推進工法立坑数による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計</p> <p>(4) 延長による補正 延長による補正は推進工法延長による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア. 現地調査、イ. 公図調査、ウ. 設計計画、エ. 各種計算、オ. 図面作成、カ. 数量計算 キ. 審査、ク. 配管設計、ケ. 報告書作成</p>	<p>2-3 既設管内配管工法 2-3-1 標準業務内容 略 2-3-2 既設管内配管工 略 2-3-3 配管設計 略 2-3-4 設計 補正は、(1)～(4)それぞれの補正係数を乗じてものとする。</p> <p>(1) 設計条件による補正 設計条件による補正は開削工法設計条件による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、報告書作成及び設計協議を除く)</u></p> <p>(2) 工事案件数による補正 工事案件数による補正は開削工法工事案件数による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、設計協議を除く)</u></p> <p>(3) 立坑数による補正 立坑数による補正は推進工法立坑数による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、設計協議を除く)</u></p> <p>(4) 延長による補正 延長による補正は推進工法延長による補正に準じて補正係数を算出する。 補正対象は作業内容の全項目とする。<u>(ただし、設計協議を除く)</u></p>

水道工事積算基準及び標準歩掛表新旧対照表

備考	改正（平成30年7月）	現行（平成30年4月）																																																																																																																																																																																																																																																			
表の単位行削除 歩掛起算単位の訂正 説明文の訂正 語句訂正	<p>2-4 シールド工法 2-4-1 基本歩掛 表-20 (1km:1箇所当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計協議</td> <td colspan="7">(表-2により別途積算計上)</td> </tr> <tr> <td>現地調査</td> <td>1.8</td> <td>2.9</td> <td>3.3</td> <td>6.9</td> <td>9.4</td> <td>8.4</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.2</td> <td>3.7</td> <td>4.7</td> <td>3.7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>発進立坑</td> <td>0.9</td> <td>1.3</td> <td>2.8</td> <td>4.6</td> <td>5.8</td> <td>4.8</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>到達立坑</td> <td>0.6</td> <td>0.9</td> <td>2.1</td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>3.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>1次覆工</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.6</td> <td>2.4</td> <td>2.9</td> <td>2.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>2次覆工</td> <td>0.8</td> <td>1.1</td> <td>2.0</td> <td>3.2</td> <td>4.1</td> <td>3.3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>図面作成</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.8</td> <td>7.3</td> <td>7.8</td> <td>7.3</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.0</td> <td>6.0</td> <td>7.5</td> <td>5.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>—</td> <td>3.6</td> <td>4.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注釈略</p> <p>2-4-2 補正 (1) 設計条件による補正略 (2) 延長による補正 延長による補正は、表-20 (1km:1箇所当たり)に表-23に示す管路延長による補正係数を乗じて行う。</p> <p>表-23</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管路延長(m)</th> <th>1000未満</th> <th>1000~1250未満</th> <th>1250~1500未満</th> <th>1500~1750未満</th> <th>1750~2000未満</th> <th>2000~2250未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.90</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.25</td> <td>1.38</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <th>管路延長(m)</th> <th>2250~2500未満</th> <th>2500~2750未満</th> <th>2750~3000未満</th> <th>3000~3500未満</th> <th colspan="2">3500~4000</th> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.63</td> <td>1.75</td> <td>1.88</td> <td>2.00</td> <td colspan="2">2.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア 1次覆工 イ 2次覆工 ウ 図面作成 エ 数量計算 注2. 対象延長は、トンネル延長とする。 注3. 管路延長が4,000m以上の場合は、別途考慮する。</p>	作業内容	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計協議	(表-2により別途積算計上)							現地調査	1.8	2.9	3.3	6.9	9.4	8.4	8.4	設計計画	0.9	1.5	2.2	3.7	4.7	3.7	—	発進立坑	0.9	1.3	2.8	4.6	5.8	4.8	1.6	到達立坑	0.6	0.9	2.1	3.4	4.2	3.6	1.4	1次覆工	—	—	1.6	2.4	2.9	2.6	1.4	2次覆工	0.8	1.1	2.0	3.2	4.1	3.3	—	図面作成	—	—	4.8	7.3	7.8	7.3	5.8	数量計算	—	—	4.0	6.0	7.5	5.5	4.5	審査	—	3.6	4.6	—	—	—	—	管路延長(m)	1000未満	1000~1250未満	1250~1500未満	1500~1750未満	1750~2000未満	2000~2250未満	補正係数	0.90	1.00	1.13	1.25	1.38	1.50	管路延長(m)	2250~2500未満	2500~2750未満	2750~3000未満	3000~3500未満	3500~4000		補正係数	1.63	1.75	1.88	2.00	2.13		<p>2-4 シールド工法 2-4-1 基本歩掛 表-20 1箇所当たり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>単位</th> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計協議</td> <td>式</td> <td colspan="7">(表-2により別途積算計上)</td> </tr> <tr> <td>現地調査</td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>2.9</td> <td>3.3</td> <td>6.9</td> <td>9.4</td> <td>8.4</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>設計計画</td> <td>〃</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.2</td> <td>3.7</td> <td>4.7</td> <td>3.7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>発進立坑</td> <td>基</td> <td>0.9</td> <td>1.3</td> <td>2.8</td> <td>4.6</td> <td>5.8</td> <td>4.8</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>到達立坑</td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td>0.9</td> <td>2.1</td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>3.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>1次覆工</td> <td>km</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.6</td> <td>2.4</td> <td>2.9</td> <td>2.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>2次覆工</td> <td>〃</td> <td>0.8</td> <td>1.1</td> <td>2.0</td> <td>3.2</td> <td>4.1</td> <td>3.3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>図面作成</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.8</td> <td>7.3</td> <td>7.8</td> <td>7.3</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.0</td> <td>6.0</td> <td>7.5</td> <td>5.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>審査</td> <td>式</td> <td>—</td> <td>3.6</td> <td>4.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注釈略</p> <p>2-4-2 補正 (1) 設計条件による補正略 (2) 延長による補正 延長による補正は、次の補正係数による。</p> <p>表-23</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>延長(m)</th> <th>1000未満</th> <th>1000~1250未満</th> <th>1250~1500未満</th> <th>1500~1750未満</th> <th>1750~2000未満</th> <th>2000~2250未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>0.90</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.25</td> <td>1.38</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <th>延長(m)</th> <th>2250~2500未満</th> <th>2500~2750未満</th> <th>2750~3000未満</th> <th>3000~3500未満</th> <th colspan="2">3500~4000</th> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.63</td> <td>1.75</td> <td>1.88</td> <td>2.00</td> <td colspan="2">2.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 補正対象の作業内容は次の項目とする。 ア 1次覆工 イ 2次覆工 ウ 図面作成 エ 数量計算 注2. 対象延長は、トンネル延長とする。 注3. 管路延長が4,000m以上の場合は、別途考慮する。</p>	作業内容	単位	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計協議	式	(表-2により別途積算計上)							現地調査	〃	1.8	2.9	3.3	6.9	9.4	8.4	8.4	設計計画	〃	0.9	1.5	2.2	3.7	4.7	3.7	—	発進立坑	基	0.9	1.3	2.8	4.6	5.8	4.8	1.6	到達立坑	〃	0.6	0.9	2.1	3.4	4.2	3.6	1.4	1次覆工	km	—	—	1.6	2.4	2.9	2.6	1.4	2次覆工	〃	0.8	1.1	2.0	3.2	4.1	3.3	—	図面作成	〃	—	—	4.8	7.3	7.8	7.3	5.8	数量計算	〃	—	—	4.0	6.0	7.5	5.5	4.5	審査	式	—	3.6	4.6	—	—	—	—	延長(m)	1000未満	1000~1250未満	1250~1500未満	1500~1750未満	1750~2000未満	2000~2250未満	補正係数	0.90	1.00	1.13	1.25	1.38	1.50	延長(m)	2250~2500未満	2500~2750未満	2750~3000未満	3000~3500未満	3500~4000		補正係数	1.63	1.75	1.88	2.00	2.13	
作業内容	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																																																																																																														
設計協議	(表-2により別途積算計上)																																																																																																																																																																																																																																																				
現地調査	1.8	2.9	3.3	6.9	9.4	8.4	8.4																																																																																																																																																																																																																																														
設計計画	0.9	1.5	2.2	3.7	4.7	3.7	—																																																																																																																																																																																																																																														
発進立坑	0.9	1.3	2.8	4.6	5.8	4.8	1.6																																																																																																																																																																																																																																														
到達立坑	0.6	0.9	2.1	3.4	4.2	3.6	1.4																																																																																																																																																																																																																																														
1次覆工	—	—	1.6	2.4	2.9	2.6	1.4																																																																																																																																																																																																																																														
2次覆工	0.8	1.1	2.0	3.2	4.1	3.3	—																																																																																																																																																																																																																																														
図面作成	—	—	4.8	7.3	7.8	7.3	5.8																																																																																																																																																																																																																																														
数量計算	—	—	4.0	6.0	7.5	5.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																														
審査	—	3.6	4.6	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																														
管路延長(m)	1000未満	1000~1250未満	1250~1500未満	1500~1750未満	1750~2000未満	2000~2250未満																																																																																																																																																																																																																																															
補正係数	0.90	1.00	1.13	1.25	1.38	1.50																																																																																																																																																																																																																																															
管路延長(m)	2250~2500未満	2500~2750未満	2750~3000未満	3000~3500未満	3500~4000																																																																																																																																																																																																																																																
補正係数	1.63	1.75	1.88	2.00	2.13																																																																																																																																																																																																																																																
作業内容	単位	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																																																																																																													
設計協議	式	(表-2により別途積算計上)																																																																																																																																																																																																																																																			
現地調査	〃	1.8	2.9	3.3	6.9	9.4	8.4	8.4																																																																																																																																																																																																																																													
設計計画	〃	0.9	1.5	2.2	3.7	4.7	3.7	—																																																																																																																																																																																																																																													
発進立坑	基	0.9	1.3	2.8	4.6	5.8	4.8	1.6																																																																																																																																																																																																																																													
到達立坑	〃	0.6	0.9	2.1	3.4	4.2	3.6	1.4																																																																																																																																																																																																																																													
1次覆工	km	—	—	1.6	2.4	2.9	2.6	1.4																																																																																																																																																																																																																																													
2次覆工	〃	0.8	1.1	2.0	3.2	4.1	3.3	—																																																																																																																																																																																																																																													
図面作成	〃	—	—	4.8	7.3	7.8	7.3	5.8																																																																																																																																																																																																																																													
数量計算	〃	—	—	4.0	6.0	7.5	5.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																													
審査	式	—	3.6	4.6	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																													
延長(m)	1000未満	1000~1250未満	1250~1500未満	1500~1750未満	1750~2000未満	2000~2250未満																																																																																																																																																																																																																																															
補正係数	0.90	1.00	1.13	1.25	1.38	1.50																																																																																																																																																																																																																																															
延長(m)	2250~2500未満	2500~2750未満	2750~3000未満	3000~3500未満	3500~4000																																																																																																																																																																																																																																																
補正係数	1.63	1.75	1.88	2.00	2.13																																																																																																																																																																																																																																																